# 学校コード F120310105866 注3

設置年度 令和 元年度

計画の区分: 学部の設置

注1



注2

長野保健医療大学 看護学部 看護学科

# 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

# 学校法人四徳学園 令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 企画部

#カクブチョウ トヨタユウゾウ **職名・氏名 企画部長 豊田雄三** 

電話番号 026-283-6111

(夜間) 026-283-6111

e — mail toyota.yuzou@ahitoku.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
  - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。 設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に ( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
    - 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・ 短期大学の学科の設置の場合: 「○○短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」

大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」

• 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。 なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、 当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b\_menu/toukei/mext\_01087.html

# 目次

# 看護学部

<₹	看護学科>				<b>^</b> °-	ージ
1.	. 調査対象大学等の概要等 ・・・・・・・・・・・・・・	•	•	•	•	1
2.	. 授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	•	•	5
3.	. 施設・設備の整備状況、経費 ・・・・・・・・・・・・	•	•	•	•	20
4.	. 既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	•	•	21
5.	. 教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	•	•	22
6.	. 附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・	•	•	•	•	37
7.	. その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	•	•	38

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人四徳学園

- (2) 大 学 名 長野保健医療大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒381-2227 長野県長野市川中島町今井原11-1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

### (4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	( キタザワ トシミ ) 北澤 俊美 (平成24年3月)	_	
学長	(イワヤ ツトム) 岩谷 力 (平成27年4月)	_	
学 部 長	(イベートシコ) 井部 俊子 (平成31年4月)	_	
学科長等	(イベートシコ) 井部 俊子 (平成31年4月)	(タナカ タカマサ) 田中 高政 (令和4年4月)	学科長の設置(4)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ( )書きで記入してください。
  - (例)令和3年度に報告済の内容 → (3)令和4年度に報告する内容 → (4)
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

#### (5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません) 。
  - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u>
    <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、
    別ファイルにて提出してください</u>(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)を
    確認してください)。
  - ・ <u>様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが</u>、 完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
  - 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

#### (5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	学生募集の停	備考		
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	1/用 /与
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	4	80	年次 一 人	320		

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
  - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

#### (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備考
区分	春季入学 その他の学期		春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	1/用 右
	_ X _ X	80人 — 人	80人 — 人	80人 — 人	80人 — 人			
A 入学定員	( — )	( — )	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — )			
志願者数	(-)(-)	167 ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	207 ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	253 ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	168 ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]			
受験者数	( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	165 ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	206 ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	248 ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	164 ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	1. 04倍	_	
合格者数	( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	109 ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	116 ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	148 ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	126 ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]			
B 入学者数	( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	85 ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	82 ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	94 ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	73 ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]			
入学定員超過率 B/A	·	1.06	1. 02	1. 17	0. 91			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ ( ) 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
  - 転入学生は記入しないでください。
  - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出** してください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

#### (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成3	0年度	令和克	<b>元年度</b>	令和2	2年度	令和 (	3年度	令和 4	4 年度	,	'''	考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	1	JH .	75
		_	_	84	_	81	_	93	_	73	_			
	1 年次	[-]	[ — ]	[ - ]	[-]	[-]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[-]			
		( — )	( — )	( — )	( — )	( — )	( — )	( — )	( — )					
				_	_	84	_	81	_	93	_			
	2 年次			[ — ]	[ - ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]			
				( — )	( — )	( — )	( — )	( — )	( — )	( — )	( — )			
						_	_	84	_	81	_			
	3 年次					[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]			
						( — )	( — )	( — )	( — )	( — )	( — )			
								_	_	84	_			
	4 年次							[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]			
								( — )	( — )	( — )	( — )	·		
		-	-	8	4	16	65	25	58	33	31			
	計	[ –	- ]	[ –	- ]	[ —	- ]	[ –	- ]	[ –	- ]			
		( _	- )	( _	- )	( —	- )	( _	- )	( _	- )			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について内数で記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
  - ・( )内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数</u>を記入してください。

#### (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	在学者数(b)	退学者数(a)		内訳	者数	主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)			
対象年度			入学した年度	<i>E</i> 7	うち留学生数	(田子工の柱田は[」音さ)			
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人				
令和元年度	85 人	1 人	平成30年度	人	人				
节和九千茂	00 X	1 7	令和元年度	1 人	人	就学意欲の低下(1人)			
			平成30年度	人	人				
令和2年度	166 人	1 人	令和元年度	人	人				
			令和2年度	1 人	人	就学意欲の低下(1人)			
			平成30年度	人	人				
令和3年度	259 人	259 人 1 人	令和元年度	Д	人				
							令和2年度	人	人
			令和3年度	1 人	人	就学意欲の低下(1人)			
			平成30年度	人	人				
			令和元年度	人	人				
令和4年度	331 人	人	令和2年度	人	人				
			令和3年度	人	人				
			令和4年度	人	人				
合 計		3 人		人	人				

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
  - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 •海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 家庭の事情・除籍・その他

### (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

#### 平成30年度の退学者数(a) #DIV/0! % 平成30年度の在学者数(b) 【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b) 1.17 % 【令和2年度】 令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b) 0.6 166 【令和3年度】 令和3年度の退学者数(a) 0.38 令和3年度の在学者数(b)

#### 【令和4年度】 令和4年度の退学者数(a) 令和4年度の在学者数(b) 0 %

259

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

# 2 授業科目の概要

# <看護学部 看護学科>

### (1)一① 授業科目表

### 【認可時又は届出時】

科目		配当		单位数					の配		兼任
区分	授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	<b>上</b> 労 世 体 に こ 上		修	択	由	授	授	師	教	手	担
	大学基礎セミナー 心理学	1前	1			2	2	1	2		<b>*</b>
	心理子 アカデミックリテラシー	1前 1前	2								兼兼
	人間関係論	I I 削 1前	1								兼
	文化人類学	I I 削 1前	'	2							兼
	哲学 I	1前		1							兼
	哲学Ⅱ	1前		1							兼
	臨床心理学	1後	1	' '							兼
	信州学	1後	l '	1							兼
	音楽	1後		1							兼
	異文化理解	1後		2							兼
	保健ボランティア	1通	1						1		-111
教	社会学	1前		2							兼
養	教育学	1後		2							兼
	日本国憲法·法学	2前		2							兼
科	自然科学の基礎	1前	2								兼
目	情報リテラシー	1後		2							兼
П	体育(実技)	1前	1								兼
	体育学	1後	1								兼
	英語 I	1前	1			1					
	医学英語 [	1後	1			1					
	中国語	1後		2							兼
	スペイン語	1後		2							兼
	ハングル	1後		2							兼
	英語Ⅱ	2前	1			1					
	医学英語 II	2後	1			1					
	英語皿	3前		1		1					
	医学英語Ⅲ 小計(28科目)	4前		1		3	2	1	2		兼2
	代謝栄養学	1後	2			٦		<del>-</del>			兼
	形態機能学 I	1通	2								兼
	形態機能学Ⅱ	1通	2						1		-II
	形態機能学皿	1後	1								兼
	病理·病態生理学	2前	2								兼
	薬理学・服薬管理論	2前	2								兼
	病態·疾病治療論 I	2通	2			1	2				兼
専	病態•疾病治療論Ⅱ	2通	2			3	2				兼1
导 門	人間発達学	2前		2							兼
基	生命倫理	2後	1								兼
礎	微生物•感染症学	1後	1								兼
科 目	疫学	2前		2							兼
-	保健統計学	2前		2							兼
	総合医療論	1前	1								兼
	健康社会学	2後	1								兼
	保健医療福祉行政論	2後	2			1					兼Ź
	小計(16科目)					4	2		1		兼3
	看護学概論	1前	1			1			<u> </u>		AK O
	基礎看護技術論I	1前	2			1		1	1		兼
専	基礎看護技術論Ⅱ	1後	2					1	2		-IN
門	ヘルスアセスメント方法論	2通	2			1		1	_		
1 1	遺伝看護学	3前	1				1				兼
科	看護教育論	4通	2						1		
	成人看護学概論	2前	2				1				
目	成人看護学方法論I	2後	2				1				
	1	3前	2	1	1	1	1	1		1	

# 【令和4年度は旧カリと新カリの対比を表示】

	7和4年度は旧7			単位数		_		員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	小計(科目)										
	1517 717										
	小計(科目)										$\vdash$

科目 区分     授業科目の名称     当年次次     必選目数据     報報報報     本書籍     助報報       成人看護学方法論皿 急性・クリティカルケア論 別ハビリテーション看護論 老年看護学概論 老年看護学概論 小児看護学形法論 小児看護学形法論 小児看護学方法論 母性看護学方法論 母性看護学所法論 特神看護学方法論 精神看護学形法論 精神看護学形法論 精神看護学形法論 精神看護学所法論 精神看護学所法論 指神看護学所法論 指神看護学所法論 地域・在宅看護学 I 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	助 1	任・兼担 兼1
次     修     択     由     授     師     教       成人看護学方法論皿     3前     2     1     1       急性・クリティカルケア論     3前     2     1     1       少ハビリテーション看護論     2前     2     1     1       老年看護学板論     2後     2     1     1       水児看護学方法論     2後     2     1     1       母性看護学板論     2後     2     1     1       母性看護学所法論     2後     2     1     1       精神看護学方法論     3前     2     1     1       精神看護学方法論     3前     2     1     1       地域・在宅看護学 I     1前     1     1     1       地域・在宅看護学 I     3前     2     1     1     1       在宅看護論概論     2後     2     1     1     1		担
成人看護学方法論 II 3前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
コハビリテーション看護論 2前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		兼1
老年看護学概論 2前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		兼1
老年看護学方法論 2後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
小児看護学概論     2後     2     1       小児看護学方法論     3前     2     1       母性看護学状論     2後     2       母性看護学方法論     3前     2     1       精神看護学方法論     3前     2     1       精神看護学方法論     3前     2     1     1       地域·在宅看護学 I     1前     1     1     1       地域·在宅看護学 II     3前     2     1     1     2       在宅看護論概論     2後     2		
小児看護学方法論     3前     2     1     1       母性看護学概論     2後     2     1       母性看護学方法論     3前     2     1     1       精神看護学方法論     3前     2     1     1       地域·在宅看護学I     1前     1     1     1       地域·在宅看護学II     3前     2     1     1     2       在宅看護論概論     2後     2		
母性看護学概論 2後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
母性看護学方法論     3前     2     1     1       精神看護学概論     2後     2     1       精神看護学方法論     3前     2     1     1       地域·在宅看護学I     1前     1     1     1       地域·在宅看護学II     3前     2     1     1     2       在宅看護論概論     2後     2     2		
精神看護学概論 2後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
精神看護学方法論 3前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
地域·在宅看護学 I     1前     1     1     1       地域·在宅看護学 I     3前     2     1     1     2       在宅看護論概論     2後     2     2     2		
地域·在宅看護学Ⅱ     3前     2     1     1     2       在宅看護論概論     2後     2		
在宅看護論概論 2後 2		٠
		兼1
		兼1
在宅看護論方法論 3前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
災害看護学		
災害看護学演習 3後~ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
統合演習 4前 1 5 3 4 8		
看護研究法 38 <sup>~</sup> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
専   看護課題探求   4通 2     6 3 4 8		
	1	
看護展開論実習   2後   2   5   3   3   4	1	
【科   成人看護学実習 I   3%~   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1	1	
	2	
┃ ̄ ┃	1	
	1	
411		
	1	
	1	
精神看護学実習   3後~   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1		
在宅看護論実習 38~ 2 1 1 1		
統合実習 4後 2 4 3 4 7	3	
公衆衛生看護学概論 2後 2 1		
公衆衛生看護学 I 3前 2 1 1 1		
公衆衛生看護学Ⅱ 3前 2 1 1		
公衆衛生看護学皿 3前 2 1 1		
公衆衛生看護学実習 I 4前 3 1 2	1	
公衆衛生看護学実習Ⅱ 4後 2 1 2	1	
ヒューマンケア論     1前   1     2		兼4
ヒューマンケア体験実習   1前   1   3   2   1   3	1	١.,
IPW論   2前   1     1		兼1
IPW演習 I   3前 1   5   3   4   4   4   1   1   1   1   1   1   1		兼4 #4
IPW演習Ⅱ 4前 1 5 3 4 4 4	_	兼4
小計(54科目) - 6 3 4 9	5	兼10
合計(98科目) - 7 3 4 9	5	兼57

卒業要件及び履修方法

卒業要件及の履修方法 「教養科目」から23単位(必修15単位、選択8単位)、「専門基礎科目」から23単位(必 修21単位、選択2単位)、「専門科目」から78単位(必修76単位、選択2単位)、合計 124単位(必修112単位、選択12単位)を取得すること。 保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目」の全科目 を履修し、「教養科目」の「情報リテラシー」「日本国憲法・法学」を、「専門基礎科目」 の「疫学」「保健統計学」を選択履修し、卒業要件単位と合わせて139単位以上を取 得すること。 (履修科目の登録の上限:49単位(年間))

授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	教	准教	講	助	助手	兼任・兼日
	火	修	択	ф	4777	12	4	+/_	ェ	400
					授	授	師	教	-	担
小計( 科目)										
	М									
	卒美	業要件	- 及び	履修力	方法					<u> </u>
	小計( 科目) 合計( 科目)	合計(科目)	<b>計( 科目)</b>	h計( 科目)	計(科目)		h計( 科目)	計( 科目)	計( 科目)	h計( 科目)

# 【令和4年度(旧カリ)】

# 【令和4年度(新カリ)】

日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本			配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
大学基礎セミナー   1前   1	科目区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教		講	助	助	
市前   1				修	択	由	授		師	教	手	
マカデックリテラシー							1	3	1	3		
大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田												
文化人類学 1前前 1 1												
哲学 I				1								
哲学   1前					_							
臨床小学 1後 1 1												
信州学 1後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				1	'							
音楽 1後 1後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				'	1							
異文化理解 (保健ボランティア 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1												
数 社会学 1前 2 2		異文化理解			2							
1日   2	٠,	保健ボランティア	1通	1			1	1		1		
日本国憲法・法学 自然科学の基礎 1前 2 2 第1	教	社会学	1前		2							兼1
科	養	教育学	1後		2							兼1
Tan	<u>.</u>	日本国憲法•法学	2前		2							兼1
The content of th	枓			2								
体育学   1後   1前   1	目				2							
英語 I	1											
医学英語 I	1	1										兼1
中国語 1後 2 1												
スペイン語 1後 2 1	1				2		Ι'					<b>兼</b> 1
ハングル   1後   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1	1											
英語 II       2前       1<	1											×114 ·
医学英語 II				1	_		1					>(N !
英語皿 (未開講)   1												
小計(28科目)					1							
代謝栄養学   1後 2   1通 2   末1   末1   末1   末1   末1   末1   末2   末1   末2   末2	1	医学英語Ⅲ(未開講)	4前	L	_1		_1	L				
形態機能学 I 1通 2			-				3	3	1	2		兼19
形態機能学 II 1通 2	1											
形態機能学皿   1後 1   2   2   3   乗3   乗2   乗2   乗2   乗2												
病理・病態生理学   2前   2   末2   末2   末2   末5   末5   末5   末5				_						1		
<ul> <li>薬理学・服薬管理論</li></ul>	1		15.7									
病態・疾病治療論 I 2通 2 2 3 素												
専	1						1	2				
専門       人間発達学       2前       2       兼2         性命倫理       2後       1       業2         科       供金       2       東       東       東       東         科       保健統計学       2前       2       東	1			_								
門 生命倫理       2後 1         機生物・感染症学       1後 1         疫学       2前 2         保健統計学       2前 2         総合医療論       1前 1         健康社会学       2後 1         保健医療福祉行政論       2後 2         小計(16科目)       -         本養       1前 1         基礎看護技術論 I 1前 2       1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	車			_	2		_	ັ				
基礎 できる       1後 1         疫学	門			1	_							
接字												* *
日   保健統計学   2前   2					2							
健康社会学 保健医療福祉行政論     2後 2     1     兼1       小計(16科目)     -     3 3 1     業34       看護学概論 基礎看護技術論 I 1前 2 基礎看護技術論 I 1後 2 I 3 1 2     1 1 1 2     1 1 2       門 ヘルスアセスメント方法論 遺伝看護学 君護教育論 目成人看護学概論 反人看護学成論 I 2 反人看護学方法論 I 2     1 1 1 3 第1     第1 1 3 第1       目成人看護学概論 成人看護学方法論 I 2     2 1 1 1 3 1 3 第1     1 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1		保健統計学	2前		2							兼1
保健医療福祉行政論     2後     2     1     兼2       小計(16科目)     -     3     3     1     兼34       看護学概論     1前     1     1     1     1     1     1     1     2     1     1     1     2     1     1     2     1     1     2     1     1     2     1     1     2     1     1     2     1     1     3     1     3     1     3     1     3     1     3     1     3     1     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     4     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     1     3     3     1     3     3     1     3     1     3     3     1     3     1     3     1     3     1     3     1     3     1				1								兼1
小計(16科目)     -     3     3     1     業34       看護学概論     1前 1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     1     2     1     1     2     1     1     2     1     1     2     1     1     1     3     1     1     1     3     1     1     3     1     3     1     3     1     3     1     3     1     3     1     3     3     1     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     3     1     3     1     3     3     1     3     1     3     1     3     1     3     1     3     1     3     1     3     1     3     1     3     1     3     1     3	1											
看護学概論 1前 1 1 1 1 素1 素1 基礎看護技術論 I 1前 2 1 1 1 1 2 1 1 2 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 3 兼1 法 位 看護学 3前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	保健医療福祉行政論	2後	2			1					兼2
看護学概論 1前 1 1 1 1 素1 素1 基礎看護技術論 I 1前 2 1 1 1 1 2 1 1 2 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 3 兼1 法 位 看護学 3前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1												
看護学概論 1前 1 1 1 1 素1 素1 基礎看護技術論 I 1前 2 1 1 1 1 2 1 1 2 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 3 兼1 法 位 看護学 3前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1											
看護学概論 1前 1 1 1 1 素1 素1 基礎看護技術論 I 1前 2 1 1 1 1 2 1 1 2 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 3 兼1 法 位 看護学 3前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1											
看護学概論 1前 1 1 1 1 素1 素1 基礎看護技術論 I 1前 2 1 1 1 1 2 1 1 2 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 3 兼1 法 位 看護学 3前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		// 하나 (10원 F)					•	0		4		****
専基礎看護技術論 I     1前 2     1 1 1 1 素1       基礎看護技術論 I 1後 2     1 1 2       門 ヘルスアセスメント方法論 遺伝看護学 3前 1 看護教育論 4通 2 前 2 前 人看護学概論 2 前 2 前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	$\vdash$		- 1 計	1			_	3				末34
専     基礎看護技術論 I 1後 2     1 2       門 ヘルスアセスメント方法論 遺伝看護学 3前 1     1 1       科 看護教育論 4通 2     1 1       成人看護学概論 成人看護学方法論 I 2後 2     1 1									1	1		兼1
門     ヘルスアセスメント方法論 遺伝看護学     2通     1     1       科 看護教育論 成人看護学概論 成人看護学方法論 I     4通 2     2     1     1       日 成人看護学方法論 I     2     1     1	専						Ι΄.					∆K !
計     遺伝看護学     3前     1     1     兼1       日     成人看護学概論     2     1     1     1       成人看護学方法論 I     2     1     1     1	甲甲						1			_		
科     看護教育論     4通 2     1     1       財成人看護学概論     2前 2     1     1       成人看護学方法論 I     2後 2     1     1	[''						Ĺ	1				兼1
目     成人看護学概論     2前     2       成人看護学方法論 I     2後     2	科						1			1		
	Р							1				
成人看護学方法論 🛘 3前 🖁 2 📗 📗 1		成人看護学方法論I		2				1				
	1	成人看護学方法論Ⅱ	3前	2			1					

		配	<u>i</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	・兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	大学基礎セミナー I	1前	2			4	1		3		<del>**</del>
	大学基礎セミナーII(国語) 人間関係論	1前	2			2	3		7		兼1
	人间舆保神 倫理学	1前 1前	1								兼1 <b>兼1</b>
	心理学	1前	'	2							兼1
	文化人類学	1前		2							兼1
	哲学	1前		1							兼1
	信州学	1後		1							兼1
	音楽	1後		1							兼1
	社会学	1前		2							兼1
	教育学 日本国憲法·法学	1後 2前		2							兼1 兼1
基	ロ 本 国 悪 法・法子 大学基礎セミナーⅢ(情報)	2削 1前	2								兼1
礎	自然科学の基礎	1前	2								兼2
TAE	ヒトと自然の共生	1前	_	2							兼1
分	加齢の科学	2前		1							兼1
野	体育(実技)	1前	1								兼1
	体育学	1後	1								兼1
	英語Ⅰ(読む・書く)	1前	1			1					
	英語 I (聞く・話す) 医学英語 I	1後	1			1					
	医学英語 II	2前 2後	1			1					
	中国語	2後	'	2							兼1
	スペイン語	2後		2							兼1
	ハングル	2後		2							兼1
	英語皿	3前		1		1					
	医学英語Ⅲ	4前		1		1					
	1) =1 (02 ±1 □ )					_	_				** **
-	小計(27科目) 代謝栄養学	- 1後	2			5	4	0	9		兼20 兼2
	形態機能学I	1前	2								兼1
	形態機能学Ⅱ	1後	2						1		兼3
	病理·病態生理学	1後	2								兼1
	薬理学	2前	2								兼2
	病態·疾病治療論 I	2前	1			1					兼3
	病態•疾病治療論Ⅱ	2前	1				1				兼4
<b>+</b>	病態・疾病治療論Ⅲ	2後	1			1					兼4
専門	病態・疾病治療論Ⅳ	2後 3前	1				1				兼6 兼4
基	病態·疾病治療論 V 生命倫理	3前	1			'	'				<b>末4</b> 兼1
礎分	臨床心理学	3削 2後	'	2							兼1
野	微生物·感染症学	1後	2	_							兼2
•	健康科学概論	1後	2			3			1		兼5
	保健医療福祉行政論	2後	2			1			2		兼2
	保健統計学I	2後	1								兼1
	保健統計学Ⅱ	3前		1							<b>兼</b> 1
	疫学 リハビリテーション概論	2前 3前		2			4				兼1 華2
			l	4			1				兼3 <b>兼2</b>
				-1					1		
	遺伝学の基礎 小計(20科目)	4前		1		4	2		3		-
	遺伝学の基礎		1	1		4	_		3		兼41
	遺伝学の基礎 小計(20科目)	4前	1 3	1		<del>-</del>	_	1	3		-
専	遺伝学の基礎 小計(20科目) 看護学概論	<mark>4前</mark> 1前		1		<del>-</del>	2	1 1			兼41
専門	遺伝学の基礎 小計(20科目) 看護学概論 基礎看護技術論 I 基礎看護技術論 I ヘルスアセスメント方法論 I	4前 1前 1前 2前 1後	3 3 1	1		1	2	1	3		兼41
門	遺伝学の基礎 小計(20科目) 看護学概論 基礎看護技術論 I 基礎看護技術論 I ヘルスアセスメント方法論 I	4前 1前 1前 2前 1後 2後	3 3 1 1	1		1 1 1	2	1	3		兼41
門分	遺伝学の基礎 小計(20科目) 看護学概論 基礎看護技術論 I 基礎看護技術論 I ヘルスアセスメント方法論 I ヘルスアセスメント方法論 I	1前 1前 2前 1後 2後 4前	3 3 1 1 2	1		1 1 1 1	2	1 1	3 3		兼41
門	遺伝学の基礎 小計(20科目) 看護学概論 基礎看護技術論 I 基礎看護技術論 I ヘルスアセスメント方法論 I ヘルスアセスメント方法論 I も地域・在宅看護学 I	4前1前前2前2後4前	3 3 1 1 2 2	1		1 1 1	2	1 1 1	3		兼41 <b>0</b>
門分	遺伝学の基礎 小計(20科目) 看護学概論 基礎看護技術論 I 基礎看護技術論 I ヘルスアセスメント方法論 I ヘルスアセスメント方法論 I	1前 1前 2前 1後 2後 4前	3 3 1 1 2	1		1 1 1 1	2	1 1	3 3		兼41

14 D		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	成人看護学方法論Ⅲ	3前	2			1		1		1	
	急性・クリティカルケア論	3前		2					1		١,,
	リハビリテーション看護論	3前		2							兼1
	老年看護学概論	2前	2				1	_	1		
	老年看護学方法論	2後	2				1	1	1		
	小児看護学概論	2後	2			0	1				
	小児看護学方法論	3前	2			0	1		1		
	母性看護学概論 母性看護学方法論	2後	2			1					
	精神看護学概論	3前	2			١,		1	1		
	精神看護学方法論	2後 3前	2			1			1		
	地域•在宅看護学 I		1						1		
	地域・在宅看護学Ⅱ	1前 3前	2			1		1	1 2		0
	在宅看護論概論		2			'		' '			兼
	在宅看護論方法論	2後 3前	2					1			ボ
	看護提供システム論	3後~	1					l '			
		4前 3後~	'			1					
	国際看護学	4前		2			1				
	災害看護学	3後~ 4前	1				1				
	災害看護学演習	3後~ 4前	1				1			1	
	統合演習	4前	1			4	4	4	9		
	看護研究法	3後~ 4前	1				1				
専	看護課題探求	4調	2			5	4	4	8		
門	基礎看護技術実習	2前	1			4	4	3	5	2	
1 1	看護展開論実習	2後	2			4	4	3	5	3	
科	成人看護学実習I	3後~	2				1		_	3	
	成人看護学実習Ⅱ	4前 3後~	2			1			1	3	
目		4前 3後~				l '					
	成人看護学実習Ⅲ	4前	2						3	3	
	老年看護学実習 I	3後~ 4前	2				1	1	1	1	
	老年看護学実習 Ⅱ	3後~ 4前	2				1	1	1	1	
	小児看護学実習	3後~ 4前	2			0	1		1	0	
	母性看護学実習	3後~	2			1		1	1		
	精神看護学実習	4前 3後~						l '		4	
		4前 3後~	2			1			1	1	
	在宅看護論実習	4前	2					1		1	
	統合実習	4後	2			3	4	4	8	2	
	公衆衛生看護学概論	2後		2		1					
	公衆衛生看護学I	3前		2		1			1		
	公衆衛生看護学Ⅱ	3前		2					1		
	公衆衛生看護学Ⅲ	3前		2		1					
	公衆衛生看護学実習I	4前		3		1			2	0	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		2		1			2	0	
	ヒューマンケア論	1前	1			2	_ ا				兼
	ヒューマンケア体験実習	1前	1			2	3	1	3	0	
	IPW論	2前	1			١.	1		_		兼
	IPW演習 I	3前	1			4	4	4	5		兼
	IPW演習Ⅱ	4前	1			4	4	4	5		兼
	小計(54科目)					5	4	4	10	8	兼1
	合計(98科目)	-	1	1		6	4	4	10	8	兼6

卒業要件及び履修方法

「教養科目」から23単位(必修15単位、選択8単位)、「専門基礎科目」から23単位(必

| 教養科目Jから23単位(必修15単位、選択2単位)、「専門基礎科目Jから23単位(必 修21単位、選択2単位)、「専門科目Jから78単位(必修76単位、選択2単位)、合計 124単位(必修112単位、選択12単位)を取得すること。 保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目Jの全科目 を履修し、「教養科目Jの「情報リテラシー」「日本国憲法・法学」を、「専門基礎科目」の「安学」「保健統計学」を選択履修し、卒業要件単位と合わせて139単位以上を取得すること。 (履修科目の登録の上限:49単位(年間))

		配	<u>i</u>	単位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
-/		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	成人看護学概論	2前	2			1					
	成人看護学方法論I	2後	2			1	1		1		
	成人看護学方法論Ⅱ	3前	2			1	1		1		
	老年看護学概論	2前	2				1		1		
	老年看護学方法論	2後	2				1	1	1		
	小児看護学概論	2後	2				1				
	小児看護学方法論	3前	2				1		1		
	母性看護学概論	2後	2			1					
	母性看護学方法論	3前	2			1		1	1		
	精神看護学概論	2前	2			1					
	精神看護学方法論	2後	2			1			1		
	IPW 論	2前	1				1				兼1
	IPW演習 I	3前	1			3	4	4	4		兼3
	看護研究法	3前	2				1				
	看護提供システム論	4前	2			1			1		
	IPW演習 Ⅱ	4前	1			3	4	4	4		兼3
	災害看護学	4前	1				1			1	
	看護の専門と発展	4前	1			3			1		
	看護課題探求 I	4前	2			5	4	4	9		
	看護課題探求Ⅱ	4後	_	2		5	4	4	9		
	エンドオブライフ・ケア	4前		2		٥	-	1	9		
専	国際看護学			_			2	'			
		4後		2			1	١.	,		
門	早期体験実習	1前	1				1	1	3	2	
分	基礎看護学実習I	2前	1					1	3		
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2					1	3	3	
野	在宅生活支援実習	3後	2					1		1	
	成人看護学実習	3後	4			1	1		1	3	
	老年看護学実習	3後	4				1	1	1	1	
	小児看護学実習	3後	2				1		1		
	母性看護学実習	3後	2			1		1	1		
	精神看護学実習	3後	2			1		l '	1	1	
			_								
	統合実習 I (管理実習)	4前	1			3	4	4	8	2	
	統合実習 II (地域包括ケア実習)	4前	2			4	4	4	10	2	
	公衆衛生看護学概論	3前		2		1			2		
	公衆衛生看護学活動論	3前		2		1			2		
	公衆衛生看護学方法論 I	3後		2		1			2		
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	4前		2		1			2		
	公衆衛生看護管理論	4後		2		1			2		
	公衆衛生看護学実習 I	4前		3		1			2		
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4前		2		1			2		
	小計(49科目)	_				5	4	4	10	8	兼4
	合計(96科目)	_				6	4	4	10	8	兼60
<u> </u>	ын ( <b>0017</b> ы/						7	7	10	٥	AKOO

卒業要件及び履修方法

卒業要件は、基礎分野から25単位(必修17世位以上、社会科学から選択3単位以上、社会科学から選択2単位以上、自然科学から選択1単位以上、外国語から1科目・2単位、計8単位以上)、専門基礎分野から25単位(必修23単位、選択2単位以上)、専門分野から77単位(必修73単位、選択4単位以上)、合計127単位(必修13単位、選択4単位以上)、合計127単位(必修113単位、選択14単位)以上を修得すること。 保健師課程を選択する場合は、「公衆衛生看護学関連科目」の全科目を履修し、基礎分野の「日本国憲法・法学」、専門基礎分野の「保健統計学Ⅱ」、「疫学」を選択履修し、卒業要件単位と合わせて143単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))

#### 【令和元年度】

#### 単位数 専任教員等の配置 配 任 科目 区分 当年 授業科目の名称 選 講 兼 粉 次 大学基礎セミナー 1前 2 1 心理学 兼1 1前 2 アカデミックリテラシ・ 1前 兼1 人間関係論 兼1 1前 文化人類学 1前 2 兼1 哲学 I 兼1 1前 1 哲学Ⅱ 1前 兼1 臨床心理学 1後 兼1 1 信州学 1後 兼1 1 音楽 1後 兼1 1 異文化理解 兼1 1後 2 教 保健ボランティア 1通 社会学 1前 2 兼1 養 教育学 1後 兼1 2 科 日本国憲法·法学 2前 2 兼1 自然科学の基礎 1前 2 兼2 情報リテラシー 1後 2 兼1 体育(実技) 1前 兼1 1 体育学 1後 兼1 1 英語 I 1前 医学英語 I 1後 1後 中国語 2 兼1 兼1 スペイン語 1後 2 ハングル 1後 2 兼1 英語Ⅱ 2前 医学英語 Ⅱ 2後 1 1 英語皿 3前 1 1 医学英語Ⅲ 4前 小計(28科目) 3 2 1 2 代謝栄養学 1後 兼2 2 形態機能学I 兼1 1诵 2 形態機能学Ⅱ 1通 2 形態機能学Ⅲ 1後 兼3 病理·病態生理学 2前 2 兼1 薬理学・服薬管理論 2前 2 兼2 病態•疾病治療論 I 2通 2 兼6 病態•疾病治療論 Ⅱ 2通 3 兼10 人間発達学 2前 2 兼2 礎 生命倫理 兼1 2後 1 科 微生物•感染症学 兼1 1後 1 疫学 2前 兼1 保健統計学 2前 2 兼1 総合医療論 1前 兼1 健康社会学 2後 兼1 保健医療福祉行政論 兼2 2後 小計(16科目) 4 2 1 兼30 看護学概論 1前 1 基礎看護技術論 I 1前 2 兼1 1 基礎看護技術論Ⅱ 1後 2 2 ヘルスアセスメント方法論 2通 2 遺伝看護学 3前 1 1 兼1 看護教育論 4通 2 1 1 成人看護学概論 2前 2 1 専 成人看護学方法論 I 2後 成人看護学方法論 Ⅱ 3前 2 成人看護学方法論皿 3前 2 1 1 1 科 急性・クリティカルケア論 3前 2 リハビリテーション看護論 3前 2 兼1 老年看護学概論 2前 2 老年看護学方法論 2後 2 1 1 小児看護学概論 2後 2 小児看護学方法論 3前 2 1 1 母性看護学概論 2後 2 1 母性看護学方法論 3前 2 1 1 精神看護学概論 2 2後

#### 【令和2年度】

	和2年度】	配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	せ・兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	大学基礎セミナー 心理学	1前 1前	1 2			2	2	1	2		並1
	心理子 アカデミックリテラシー	1前	1								兼1 兼1
	人間関係論	1前	1								兼1
	文化人類学	1前	ľ	2							兼1
	哲学 I	1前		1							兼1
	哲学Ⅱ	1前		1							兼1
	臨床心理学	1後	1								兼1
	信州学	1後		1							兼1
	音楽 異文化理解	1後		1 2							兼1
教	供健ボランティア	1後 1通	1	2		1	1		1		兼1
養	社会学	1前	ľ	2		Ľ			ľ		兼1
	教育学	1後		2							兼1
科	日本国憲法・法学	2前		2							兼1
目	自然科学の基礎 情報リテラシー	1前 1後	2	2							兼2 兼1
	体育(実技)	1仮 1前	1								兼1
	体育学	1後	1								兼1
	英語I	1前	1			1					
	医学英語 I	1後	1			1					* 1
	中国語スペイン語	1後 1後		2							兼1 兼2
	ハングル	1後		2							兼1
	英語Ⅱ	2前	1			1					
	医学英語Ⅱ	2後	1			1					
	英語皿 医学英語皿	3前		1		1					
	小計(28科目)	4前 -				4	2	1	2		兼21
	代謝栄養学	1後	2			Ė	Ī		Ť		兼2
	形態機能学I	1通	2								兼1
	形態機能学Ⅱ	1通	2						1		<b>兼2</b>
	形態機能学Ⅲ 病理•病態生理学	1後 2前	1 2								兼3 兼1
	薬理学·服薬管理論	2前	2								兼2
専	病態•疾病治療論 I	2通	2			1	2				兼6
門基	病態•疾病治療論Ⅱ	2通	2			3	2				<b>兼</b> 11
礎	人間発達学 生命倫理	2前 2後	1	2							兼2 兼1
科目	微生物・感染症学	2伎 1後	1								兼3
	疫学	2前		2							兼1
	保健統計学	2前		2							兼2
	総合医療論	1前	1								兼1
	健康社会学 保健医療福祉行政論	2後 2後	1 2			1					兼1 兼2
	小計(16科目)	- IX	۲			4	2		1		<b>兼34</b>
	看護学概論	1前	1			1					
	基礎看護技術論 I	1前	2			1		1	1		兼1
	基礎看護技術論 Ⅱ ヘルスアセスメント方法論	1後	2			4		1	2		
	遺伝看護学	2通 3前	2			1	1	1			兼1
	看護教育論	4通	2			1	ĺ .		1		<b>√</b>
専	成人看護学概論	2前	2				1				
	成人看護学方法論Ⅰ	2後	2				1				
門	成人看護学方法論 II 成人看護学方法論 II	3前 3前	2			1		1		1	
科	急性・クリティカルケア論	3削 3前	_	2		l		<b>'</b>	1	'	
目	リハビリテーション看護論	3前		2							兼1
	老年看護学概論	2前	2				1				
	老年看護学方法論	2後	2				1	1			
	小児看護学概論 小児看護学方法論	2後 3前	2			1			0		
	小児有護学方法論 母性看護学概論	3削 2後	2			1			١		
	母性看護学方法論	3前	2					1	0		
	精神看護学概論	2後	2			1					

<b>41</b> D		配业	È	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任	<b>1</b> 10		配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•	科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担			次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	精神看護学方法論	3前	2			1			1				精神看護学方法論	3前	2			1			1		
	地域·在宅看護学 I	1前	1			1			1				地域·在宅看護学 I	1前	1			1			1		
	地域•在宅看護学Ⅱ	3前	2			1		1	2		兼1		地域•在宅看護学Ⅱ	3前	2			1		1	2		兼1
	在宅看護論概論	2後	2								兼1		在宅看護論概論	2後	2								兼1
	在宅看護論方法論	3前	2					1					在宅看護論方法論	3前	2					1			
	看護提供システム論	3後~ 4前	1			1							看護提供システム論	3後~ 4前	1			1					
	国際看護学	3後~ 4前		2			1						国際看護学	3後~ 4前		2			1				
	災害看護学	3後~ 4前	1				1						災害看護学	3後~ 4前	1				1				
	災害看護学演習	3後~ 4前	1				1						災害看護学演習	3後~	1				1				
	統合演習	4前	1			5	3	4	8				統合演習	4前	1			5	3	4	7		
	看護研究法	3後~ 4前	1				1						看護研究法	3後~ 4前	1				1				
	看護課題探求	4通	2			6	3	4	8				看護課題探求	4通	2			6	3	4	7		
	基礎看護技術実習	2前	1			5	3	3	4	1			基礎看護技術実習	2前	1			5	3	3	3	1	
	看護展開論実習	2後	2			5	3	3	4	1			看護展開論実習	2後	2			5	3	3	3	1	
	成人看護学実習I	3後~ 4前	2				1			1			成人看護学実習I	3後~ 4前	2				1			1	
車	成人看護学実習Ⅱ	3後~ 4前	2			1			1	2		車	成人看護学実習 Ⅱ	3後~ 4前	2			1			1	2	
	成人看護学実習Ⅲ	3後~ 4前	2						3	1		,	成人看護学実習Ⅲ	3後~ 4前	2						3	1	
門	老年看護学実習 I	3後~ 4前	2				1	1		1		門	老年看護学実習 I	3後~	2				1	1		1	
科	老年看護学実習 Ⅱ	3後~ 4前	2				1	1		1		科	老年看護学実習 Ⅱ	3後~	2				1	1		1	
	小児看護学実習	3後~ 4前	2			1			1	1		目	小児看護学実習	3後~	2			1			0	1	
-	母性看護学実習	3後~ 4前	2			1		1	1				母性看護学実習	3後~	2			1		1	0		
	精神看護学実習	3後~ 4前	2			1			1				精神看護学実習	3後~	2			1			1		
	在宅看護論実習	3後~	2			,		1					在宅看護論実習	3後~	2					1			
	統合実習	<sup>4前</sup> 4後	2			4	3	4	7	3			統合実習	<sup>4前</sup> 4後	2			4	3	٠ ۵	5	3	
	公衆衛生看護学概論	2後	_	2		1			ĺ .	ľ			公衆衛生看護学概論	2後	_	2		1	ľ		ľ		
	公衆衛生看護学 I	3前		2		1			1				公衆衛生看護学 I	3前		2		1			1		
	公衆衛生看護学Ⅱ	3前		2					1				公衆衛生看護学Ⅱ	3前		2					1		
	公衆衛生看護学Ⅲ	3前		2		1							公衆衛生看護学Ⅲ	3前		2		1					
	公衆衛生看護学実習 I	4前		3		1			2	1			公衆衛生看護学実習 I	4前		3		1			2	1	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		2		1			2	1			公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		2		1			2	1	
	ヒューマンケア論	1前	1			2					兼4		ヒューマンケア論	1前	1			2					兼4
	ヒューマンケア体験実習	1前	1			3	2	1	3	1			ヒューマンケア体験実習	1前	1			3	2	1	3	1	
	IPW論	2前	1				1				兼1		IPW論	2前	1				1				兼1
	IPW演習 I	3前	1			5	3	4	4		兼4		IPW演習 I	3前	1			5	3	4	3		兼4
	IPW演習 Ⅱ	4前	1			5	3	4	4		兼4		IPW演習 Ⅱ	4前	1			5	3	4	3		兼4
	小計(54科目)	-				6	3	4	9	5	兼10		小計(54科目)	-				6	3	4	7	5	兼10
	合計(98科目)	-				7	3	4	9	5	兼59		合計(98科目)	-				7	3	4	7	5	兼62

卒業要件及び履修方法

「教養科目」から23単位(必修15単位、選択8単位)、「専門基礎科目」から23単位(必修21単位、選択2単位)、「専門科目」から78単位(必修76単位、選択2単位)、合計124単位(必修112単位) 選択12単位)を取得すること。 保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目」の全科目を履修し、「教養科目」の「情報リテラシー」「日本国憲法・法学」を、「専門基礎科目」の「疫学」「保健統計学」を選択履修し、卒業要件単位と合わせて139単位以上を取得セス・「

得すること。 (履修科目の登録の上限:49単位(年間))

卒業要件及び履修方法

「教養科目」から23単位(必修15単位、選択8単位)、「専門基礎科目」から23単位(必修21単位、選択2単位)、「専門科目」から78単位(必修76単位、選択2単位)、合計124単位(必修112単位)、選択12単位)を取得すること。 保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目」の全科目を履修し、「教養科目」の「情報リテラシー」「日本国憲法・法学」を、「専門基礎科目」の「疫学」「保健統計学」を選択履修し、卒業要件単位と合わせて139単位以上を取得ます。」

得すること。 (履修科目の登録の上限:49単位(年間))

# 【令和3年度】

科目	les alle et e	配当		单位数			.—		の配		兼任
区分	授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助工	兼
	大学基礎セミナー	1前	<u>修</u>	択	由	授 1	<u>授</u>	<u>師</u> 1	教 3	手	担
	心理学	1前	2			Ľ	Ĭ	'	Ĭ		兼
	アカデミックリテラシー	1前	1								兼
	人間関係論	1前	1								兼
	文化人類学	1前		2							兼
	哲学 I	1前		1							兼
	哲学Ⅱ	1前		1							兼
	臨床心理学	1後	1								兼
	信州学	1後		1							兼
	音楽	1後		1							兼
	異文化理解	1後		2							兼
教	保健ボランティア	1通	1	_		1	1		1		-14
	社会学	1前		2							兼
養	教育学 日本国憲法•法学	1後		2							兼
科	自然科学の基礎	2前 1前	2	2							兼兼
	情報リテラシー	1後		2							兼
目	体育(実技)	1仮 1前	1								ボ 兼
	体育学	1後	1								兼
	英語 I	1前	1			1					1
	医学英語 I	1後	1			1					
	中国語	1後		2		Ė					兼
	スペイン語	1後		2							兼
	ハングル	1後		2							兼
	英語Ⅱ	2前	1			1					
	医学英語 Ⅱ	2後	1			1					
	英語皿(未開講)	3前		1		1					
	医学英語Ⅲ	4前		1		1					
	小計(28科目)	-				3	3	1	2		兼
	代謝栄養学	1後	2								兼
	形態機能学I	1通	2								兼
	形態機能学Ⅱ	1通	2						1		兼
	形態機能学Ⅲ	1後	1								兼
	病理•病態生理学	2前	2								兼
_	薬理学・服薬管理論	2前	2			١.					兼
専門	病態・疾病治療論 I	2通	2			1	2				兼
基	病態・疾病治療論Ⅱ	2通	2	١,		2	3				兼兼
礎	人間発達学 生命倫理	2前	4	2							
科目	微生物・感染症学	2後 1後	1								兼兼
	版生物·总未证子 疫学	2前	'	2							兼
	没于  保健統計学	2前 2前		2							兼
	総合医療論	2削 1前	1								兼
	健康社会学	2後	1								兼
	保健医療福祉行政論	2後	2			1					兼
	小計(16科目)	- 10	_			3	3		1		兼
	看護学概論	1前	1			1					
	基礎看護技術論I	1前	2			1		1	1		兼
	基礎看護技術論 Ⅱ	1後	2					1	2		
	ヘルスアセスメント方法論	2通	2			1		1			
	遺伝看護学	3前	1				1				兼
	看護教育論	4通	2			1			1		
車	成人看護学概論	2前	2				1				
寸	成人看護学方法論 I	2後	2				1				
門	成人看護学方法論Ⅱ	3前	2			1					
	成人看護学方法論Ⅲ	3前	2			1		1		1	
<b>1</b> 41	急性・クリティカルケア論	3前		2					1		
科			l	2							兼
科目	リハビリテーション看護論	3前			1		1	I	1	ı	
	リハビリテーション看護論 老年看護学概論	2前	2								
	リハビリテーション看護論 老年看護学概論 老年看護学方法論	2前 2後	2			_	1	1	i		
	リハビリテーション看護論 老年看護学概論 老年看護学方法論 小児看護学概論	2前 2後 2後	2 2			0	1 1	1	1		
	リハビリテーション看護論 老年看護学概論 老年看護学方法論 小児看護学概論 小児看護学方法論	2前 2後 2後 3前	2 2 2			0	1	1			
	リハビリテーション看護論 老年看護学概論 老年看護学方法論 小児看護学概論	2前 2後 2後	2 2				1 1	1	1		

		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
E.73		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	精神看護学方法論	3前	2			1			1		
	地域·在宅看護学 I	1前	1			1			1		
	地域・在宅看護学Ⅱ	3前	2			1		1	2		0
	在宅看護論概論	2後	2								兼1
	在宅看護論方法論	3前	2					1			
	看護提供システム論	3後~ 4前	1			1					
	国際看護学	3後~ 4前		2			1				
	災害看護学	3後~ 4前	1				1				
	災害看護学演習	3後~ 4前	1				1				
	統合演習	4前	1			4	4	4	8		
	看護研究法	3後~ 4前	1				1				
	看護課題探求	4通	2			5	4	4	8		
	基礎看護技術実習	2前	1			4	4	3	4	0	
	看護展開論実習	2後	2			4	4	3	4	1	
	成人看護学実習I	3後~ 4前	2				1			1	
車	成人看護学実習 Ⅱ	3後~ 4前	2			1			1	2	
	成人看護学実習Ⅲ	3後~ 4前	2						3	1	
門	老年看護学実習 I	3後~ 4前	2				1	1	1	0	
科	老年看護学実習 Ⅱ	3後~ 4前	2				1	1	1	0	
B	小児看護学実習	3後~ 4前	2			0	1		0	1	
	母性看護学実習	3後~ 4前	2			1		1	1		
	精神看護学実習	3後~ 4前	2			1			1		
	在宅看護論実習	3後~ 4前	2					1		1	
	統合実習	4後	2			3	4	4	7	2	
	公衆衛生看護学概論	2後		2		1					
	公衆衛生看護学 I	3前		2		1			1		
	公衆衛生看護学Ⅱ	3前		2					1		
	公衆衛生看護学Ⅲ	3前		2		1					
	公衆衛生看護学実習 I	4前		3		1			2	1	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		2		1			2	1	
	ヒューマンケア論	1前	1			2					兼3
	ヒューマンケア体験実習	1前	1			2	3	1	3		
	IPW論	2前	1				1				兼1
	IPW演習 I	3前	1			4	4	4	4		兼4
	IPW演習Ⅱ	4前	1			4	4	4	4		兼4
	小計(54科目)	-				5	4	4	9	6	兼10
	合計(98科目)	_	<b>光 田 小</b>			6	4	4	9	6	兼62

卒業要件及び履修方法

「教養科目」から23単位(必修15単位、選択8単位)、「専門基礎科目」から23単位(必修21単位、選択2単位)、「専門科目」から78単位(必修76単位、選択2単位)、合計124単位(必修112単位、選択12単位)を取得すること。

保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目」の全科目を履修し、「教養科目」の「情報リテラシー」「日本国憲法・法学」を、「専門基礎科目」の「疫学」「保健統計学」を選択履修し、卒業要件単位と合わせて139単位以上を取得すること。

侍9 ること。 (履修科目の登録の上限:49単位(年間))

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
  - 黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - · <u>1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入</u>してください。
  - 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

#### 【令和元年度】

・認可付帯事項(遵守事項)の助教単独からより職位の高い専任教員配置という理由により、「保健ボランティア」の専任教員等の配置を 令和元年度は「助教 1」から「准教授 1、助教 1、兼 1」に、令和 2 年度以降「教授 1、准教授 1、助教 1」に変更。

・認可付帯事項(遵守事項)の助教単独からより職位の高い専任教員配置という理由により、「看護教育論」の専任教員等の配置を「助教 1」から「教授1、助教1」に変更。

#### 【令和2年度】

- ・兼任教員の本務の都合により、「スペイン語」の兼任・兼担の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・「形態機能学Ⅱ」の助教欠員に伴い専任補充の教員審査期間中に対応した兼任・兼担教員と、令和2年5月教員資格審査済となった専任教 員と共同授業としたため、兼任・兼担の配置を「兼1」から「助教1、兼2」に変更。
- ・兼任教員の本務の都合により、「病態・疾病治療論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、兼10」から「教授3、准教授2、 兼11」に変更。
- ・兼任教員の辞任により、 「微生物・感染症学」の兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・兼任教員の本務の都合により、「保健統計学」の兼任・兼担の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- 専任教員の就任辞退の理由により、

- ①「母性看護学方法論」の専任教員等の配置を「講師1、助教1」から「講師1、助教0」に変更。 ②「母性看護学実習」の専任教員等の配置を「教授1、講師1、助教1」から「教授1、講師1」に変更。 ③「統合実習」の専任教員等の配置を、「教授4、准教授3、講師4、助教7、助手3」から「教授4、准教授3、講師4、助教5、助 手3 | に変更。
- ・専任教員の辞任の理由により
- ①「小児看護学方法論」の専任教員等の配置を「教授1、助教1」から「教授1」に変更。
- ②「統合演習」の専任教員等の配置を「教授5、准教授3、講師4、助教8」から「教授5、准教授3、講師4、助教7」に変更。 ③「看護課題探求」の専任教員等の配置を「教授6、准教授3、講師4、助教8」から「教授6、准教授3、講師4、助教7」に変更。
- ④「基礎看護技術実習」の専任教員等の配置を「教授5、准教授3、講師3、助教4、助手1」から「教授5、准教授3、講師3、助教 3, 助手1」に変更
- ⑤「看護展開論実習」の専任教員等の配置を「教授5、准教授3、講師3、助教4、助手1」から「教授5、准教授3、講師3、助教 3. 助手1」に変更。
- ⑥「小児看護学実習」の専任教員等の配置を「教授1、助教1、助手1」から「教授1、助手1」に変更。 ⑥「IPW演習I」の専任教員等の配置を「教授5、准教授3、講師4、助教4」から「教授5、准教授3、講師4、助教3」に変更。
- ⑦「IPW演習2」の専任教員等の配置を「教授5、准教授3、講師4、助教4」から「教授5、准教授3、講師4、助教3」に変更。

#### 【令和3年度】

- ・専任教員の辞任に伴う専任補充 (R3年8月及び11月AC教員審査済) の理由により、 「大学基礎セミナー」の専任教員等の配置を「教授 2、准教授2、講師1、助教2」から「教授1、准教授3、講師1、助教3」に変更。
- ・専任教員(教授)の辞任及び兼任教員の本務の都合による辞任に伴う専任補充(R3年8月AC教員審査済)及び新たな兼任の補充の理由 により、「病態・疾病治療論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、兼任11」から「教授2、准教授3、兼任11」に変更。 ・兼任教員の本務の都合により、「微生物・感染症学」の兼任・兼担の配置を「兼任3」から「兼任2」に変更。
- ・専任教員新規採用(R3年11月AC教員審査済)の理由により、「老年看護学概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、 助教1」に変更。
- ・専任教員新規採用(R3年11月AC教員審査済)の理由により、「老年看護学方法論」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1」から
- 「准教授 1、講師1、助教 1」に変更。 ・専任教員(教授)の辞任に伴う専任補充(R3年8月AC教員審査済)の理由により、「小児看護学概論」の専任教員等の配置を、「教授 1 | から「准教授1」に変更。
- ・専任教員(教授、助教)の辞任に伴う専任補充(R3年8月AC教員審査済)の理由により、「小児看護方法論」の専任教員等の配置を、 「教授1、助教1」から「准教授1」に変更
- ・専任教員(教授、助教)の就任辞退に伴う専任補充(R2年8月AC教員審査済)就任の理由により、「母性看護方法論」の専任教員等の 配置を、「講師1」から「講師1、助教1」に変更。 ・兼任教員の本務の都合により、「地域・在宅看護学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、講師1、助教2、兼任1」から「教授1、講師
- 助教2」に変更。なお、兼任教員の担当部分を専任教員(R3年5月AC教員審査済)が担う
- ・専任教員(教授、助教)の辞任に伴う専任補充(R3年8月AC教員審査済)の理由により、「統合演習」の専任教員等の配置を、「教授
- 5、准教授3、講師4、助教7」から「教授4、准教授4、講師4、助教8」に変更。 ・専任教員(教授、助教)の辞任に伴う専任補充(R3年8月及び11月AC教員審査済)の理由により、「看護課題探求」の専任教員等の配置を「教授6、准教授3、講師4、助教7」から「教授5、准教授4、講師4、助教8」に変更。
- ・専任教員(教授、助教)の辞任に伴う専任補充(R3年8月及び11月AC教員審査済)の理由により、「基礎看護技術実習」の専任教員等 の配置を「教授5、准教授3、講師3、助教3、助手1」から「教授4、准教授4、講師3、助教4」に変更。
- ・専任教員(教授、助教)の辞任により、 「看護展開論実習」の専任教員等の配置を「教授5、准教授3、講師3、助教3、助手1」から 「教授4、准教授4、講師3、助教4」に変更。
- ・専任教員新規採用(R3年11月AC教員審査済)の理由により、「老年看護学実習I」及び「老年看護学実習II」の専任教員等の配置を 「准教授1、講師1、助手1」から「准教授1、講師1、助教1」に変更。
- ・専任教員(教授、助教)の辞任に伴う専任補充(R3年8月及び11月AC教員審査済)の理由により、「統合実習」の専任教員等の配置を 「教授4、准教授3、講師4、助教5、助手3」から「教授3、准教授4、講師4、助教7、助手2」に変更。
- ・兼担教員の本務の都合により、「ヒューマンケア論」の専任教員等の配置を「教授2、兼4」から「教授2、兼任3」に変更。
- ・専任教員(教授)の辞任に伴う専任補充(令和3年8月AC教員審査済)の理由により、「ヒューマンケア体験実習」の専任教員等の配置
- を「教授3、准教授2、講師1、助教3、助手1」から「教授2、准教授3、講師1、助教3」に変更。 ・専任教員(教授、助教)の辞任に伴う専任補充(令和3年8月及び11月AC教員審査済)の理由により、「IPW演習I」及び「IPW演 習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授5、准教授3、講師4、助教3、兼4」から「教授4、准教授4、講師4、助教4、兼4」に変更。

#### 【令和4年度】

旧カリ分

- ・兼任教員の辞任による「自然科学の基礎」の補充、及び兼担教員の本務の都合での辞任による「情報リテラシー」の補充を1人の兼任教 員に変更
- 「形態機能学Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1、兼2」から「助教1、兼1」に変更。
- ・兼担教員の本務の都合により、「形態機能学Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1、兼2」か ・兼任教員の辞任により、「保健統計学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・専任教員(助教)の辞任に伴う専任補充(R3年11月AC教員審査済)就任の理由により、「小児看護方法論」の専任教員等の配置を、 「准教授1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・専任教員の新規採用の理由により、 専任教員等の配置を
- ①「統合演習」は「教授4、准教授4、講師4、助教8」から「教授4、准教授4、講師4、助教9」に変更。
- ②「基礎看護技術実習」は「教授4、准教授4、講師3、助教4」から「教授4、准教授4、講師3、助教5、助手2」に変更。
- ③「看護展開論実習」は「教授4、准教授4、講師3、助教4、助手1」から「教授4、准教授4、講師3、助教5、助手3」に変更。 ④「統合実習」は「教授3、准教授4、講師4、助教7、助手2」から「教授3、准教授4、講師4、助教8、助手2」に変更。 ⑤「IPW演習I」及び「IPW演習II」は「教授4、准教授4、講師4、助教4、助手4」から「教授4、准教授4、講師4、助教5、助手 4」に変更。

新カリ分

保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正に伴う教育課程の変更とともに、科目内容の重複の解消、学生の基本的能力獲得のため の科目内容の精選、社会情勢に合わせた実習の配置、教育課程全体の中での多職種連携の学修効果を高めるため授業科目を整理統合した。 【授業科目名等の変更】

スタディスキル部分を他の科目に委ね、人と社会の仕組みを幅広く理解し、 ソーシャルスキルを修得する科目とする理由により、「大学

・ スタティスやル部ガを他の付目に要ね、人と社会の仕組みを幅広く連絡し、フージャルスやルを修得する村目とする理由により、「スタ 基礎セミナー」を「大学基礎セミナーI」に名称変更し、1単位から2単位に変更。 ・「アカデミックリテラシー」における「読む」、「書く」と「大学基礎セミナー」における「レポート・論文の書き方の基礎」との重複 を解消するとともに、さらに「話す」ための基礎的知識とプレゼンテーションスキルの修得する科目とする理由により、「アカデミックリ テラシー」を「大学基礎セミナーⅡ(国語)」に名称変更し、1単位から2単位に変更。

- アフシー」を「大字基礎でミナーⅡ(国語)」に石砂変更し、「単位から2単位に変更。
  ・コミュニケーション能力の向上に資する内容を付加し、15回の講義科目の理由により、「人間関係論」を1単位から2単位に変更。
  ・「倫理学」を追加した理由により、「心理学」を必修から選択に変更。
  ・「倫理学」を追加した理由により、「哲学Ⅰ」を廃止し、「哲学Ⅱ」を「哲学」に名称変更。
  ・「文化人類学」と「異文化理解」との内容重複を解消するため、「異文化理解」を科目廃止し、「文化人類学」に整理統合。
  ・「成人看護学方法論Ⅰ」との科目内容の重複を解消するため、「保健ボランティア」を科目廃止し、「文化人類学」に整理統合。

- ・情報通信技術を活用するための基本的な情報機器の操作を修得する科目とする理由により、名称を「情報リテラシー」から「大学基礎セ ミナーⅢ(情報)」に変更し、選択を必修に変更。 ・「英語Ⅰ」と「英語Ⅱ」の内容を明確にする理由により、「英語Ⅰ」を「英語Ⅰ(読む・書く)」に名称変更。 ・「英語Ⅰ」と「英語Ⅲ」の内容を明確にする理由により、「英語Ⅲ」を「英語Ⅲ(聞く・話す)」に名称変更。

- ・生理的側面から生活に根差した視点に再編する理由により、「形態機能学I」の内容を変更。
- 人体の構造を理解する科目とする理由により、「形態機能学Ⅱ」及び「形態機能学Ⅲ」を整理統合。

- ・・専門科目の各概論との内容重複を解消するため、「人間発達学」を科目廃止する。 ・専門科目の各概論との内容重複を解消するため、「人間発達学」を科目廃止する。 ・服薬管理が薬理学に含まれる内容である理由により、「薬理学・服薬管理論」を「薬理学」に名称変更。 ・「病態・疾病治療論Ⅰ」を学生の理解を深めるため3分割し、主に消化器系、循環器系、呼吸器系の病態・診断・治療法に関する知識を 修得する科目とする理由により、「病態・疾病治療論Ⅰ」に名称変更。主に内分泌系、代謝系、血液・造血器系および乳がんの病態・診 断・治療法に関する知識を修得科目とする理由により、「病態・疾病治療論Ⅲ」に名称変更。主に小児系、放射線・化学療法適応の疾患と 治療、免疫系・アレルギー疾患、難病系について病態・診断・治療法に関する知識を修得する科目とする理由により、「病態・疾病治療論 Ⅴ」に名称変更
- 「病態・疾病治療論Ⅱ」を学生の理解を深めるため前期科目と後期科目に分割し、前期科目は主に腎・泌尿器系、脳・神経系、運動器系 の病態・診断・治療法に関する知識を修得とする理由により、「病態・疾病治療論Ⅱ」に名称変更。後期科目として主に精神系、 群、眼科・耳鼻咽喉科・歯・口腔、皮膚科系の病態・診断・治療法に関する知識を修得する科目とする理由により、「病態・疾病 老年症候 「病態・疾病治療論 Ⅳ」に名称変更。
- ・「臨床心理学」は、授業時間及び科目配置の理由により、基礎分野から専門基礎分野に科目区分を変更し、必修から選択、1単位から2単 位に変更。
- ・「人間関係論」にコミュニケーション能力の向上に資する内容を付加し、1単位から2単位に変更。
- ・15回の講義科目である理由により、「微生物・感染症学」を1単位から2単位に変更。
- ・病気と疾患、健康と障害、正常と異常の概念、専門職連携の必要性、ヘルスプロモーション、病気に関与する環境や社会要因など講義内 容に重複があり整理統合する理由により、「総合医療論」、 「健康社会学」、「ヒューマンケア論」を「健康科学概論」に整理統合し名称 変更。
- ・「保健統計学」を学生の理解を深めるため2分割し、簡単な統計情報を用いた数値データの処理方法の基礎知識及び統計的加工方法の修 得に内容を変更する理由により、「保健統計学I」に名称変更。統計学の基礎知識及び標準的な統計手法を学び健康課題解決に役立てる力 を養う内容に変更する理由により、「保健統計学Ⅱ」に名称変更。
- ・急性期から慢性期のリハビリテー - ション看護について学ぶことに加えて、医療現場の中で看護職に次いで多いリハビリテーション関連職 種である理学療法士及び作業療法士について理解することを狙いとする内容とする理由により、「リハビリテーション看護論」を「リハビ リテー ・ション概論」に名称変更
- ・全ての疾病につながる専門基礎分野に位置づけとする理由により、「遺伝看護学」を「遺伝学の基礎」に名称変更し、必修から選択に変 更。
- ・看護実践に共通する基本的な看護技術と生活援助技術についての演習を強化する理由により、「基礎看護技術論 I 」を2単位から3単位に 変更。
- ・安全で快適な療養生活を支援するための診療過程における看護技術についての演習を強化する理由により、「基礎看護技術論Ⅱ | を2単 位から3単位に変更。
- ・「ヘルスアセスメント方法論」2単位を前期科目と後期科目に分割し、前期はヘルスアセスメントの概念理解と対象を理解するためのフィジカルアセスメント等の看護技術を修得する科目とする理由により、「ヘルスアセスメント方法論 I 」に名称変更し1単位とする。 期は看護実践と看護理論の関係性について理解し、対象となる人のニーズに合わせた看護を展開する方法を学ぶ科目とする理由により、 「ヘルスアセスメント方法論 I 」に名称変更し1単位とする。後 「ヘルスアセスメント方法論Ⅱ」に名称変更し1単位とする
- ・「地域・在宅看護学Ⅰ」と「地域・在宅看護学Ⅱ」を指定規則の教育内容に合わせる理由により、分類替え及び「地域・在宅看護学Ⅰ」 に統合。
- ・指定規則の教育内容に合わせる理由により、「在宅看護論概論」を「地域・在宅看護学Ⅱ」に名称変更。
- ・地域・在宅看護の基盤となる知識と実践方法や多職種連携の活動の実際を学ぶ内容とする理由により、「在宅看護論方法論」から「地 域・在宅看護学方法論」に名称変更。
- ・急性期の看護について扱う2科目の内容に重複部分があり、「保健ボランティア」でも一次救命処置を扱うなど重複がある理由により、 「急性クリティカルケア論」、「成人看護学方法論 I 」から「成人看護学方法論 I 」に整理統合。 「急性クリティカルケア論」、「成人看護学方法論 I 」から「成人看護学方法論 I 」・15回の講義科目の理由により、「看護研究法」を1単位から2単位に変更。・15回の講義科目の理由により、「看護提供システム論」を1単位から2単位に変更。

- ・内容の重複を解消する理由により、「災害看護学」及び「災害看護学演習」から「災害看護学」に整理統合。
- ・看護の実践を段階的に学ぶ内容の科目とする理由により、「統合演習」から「看護の専門と発展」に名称変更。
- ・「看護課題探求」は、学生の個々の研究進度に対応するために通期科目を分割し、基本的な研究の枠組みと方法について学修する科目と する理由により、「看護課題探求Ⅰ」に名称変更。また、選択科目として研究計画書に基づいたデータ収集・分析を経て研究論文を作成す る一連の過程を通して看護課題探求の基礎的能力を修得する科目とする理由により、「看護課題探求Ⅱ」に名称変更。 する理由により、

- ・人生を完成する時期の基本的態度を養う科目とする理由により、「成人看護学方法論皿」から「エンドオブライフ・ケア」に名称変更 し、必修から選択に変更。
- IPE関連科目に係る多職種連携の内容を教育課程全体で取り組むことを踏まえ、専門分野の臨地実習とする理由により、「ヒューマン ケア体験実習」から「早期体験実習」に名称変更。
- ・最も初期の段階の実習であることを明確にする理由により、「基礎看護技術実習」から「基礎看護学実習Ⅰ」に名称を変更。 学分野の実習科目において二段階目であることを明確にする理由により、「看護展開論実習」から「基礎看護学実習 II 」に名称変更・住み慣れた地域での療養者やその家族が望む生活を支援するという視点とする理由により、「在宅看護論実習」から「在宅生活支 「在宅看護論実習」から「在宅生活支援実 習」に名称変更。
- ・指定規則の変更に合わせて整理統合する理由により、「成人看護学実習Ⅰ」、「成人看護学実習Ⅱ」、「成人看護学実習Ⅲ」から「成人 看護学実習」に名称変更。
- ・指定規則の変更に併せて整理統合する理由により、「老年看護学実習I」、「老年看護学実習II」から「老年看護学実習」に名称変更。 ・「統合実習」は、学生の理解を深める理由により分割し、チーム医療における看護師のリーダーシップとメンバーシップの実際を学ぶ 「統合実習 I (管理実習) 」に名称変更。また、地域包括ケアにおける多職種連携の実際を学ぶ在宅、地域、病院を「繋ぐ」ことを狙う実 習として「統合実習 II (地域包括ケア実習)」に名称変更し、「災害看護学演習」で扱う災害時における看護の役割も扱う。

- 自として「就古美自』(地域と治グア美自)」に右桁変更し、「灰吉有歳子演自」で放り灰吉時における有歳の反前も放り。 ・指定規則の教育内容に合わせる理由により、「公衆衛生看護学Ⅱ」から「公衆衛生看護学方法論Ⅱ」に名称変更。 ・指定規則の教育内容に合わせる理由により、「公衆衛生看護学Ⅲ」から「公衆衛生看護管理論」に名称変更。 ・指定規則の教育内容に合わせる理由により、「公衆衛生看護学Ⅲ」から「公衆衛生看護管理論」に名称変更。 ・地域診断に基づく公衆衛生看護活動の展開をより多く含む内容とする理由により、「公衆衛生看護学実習Ⅰ」を2単位から3単位に変更。
- ・学校保健や職域保健を対象とする内容とする理由により、「公衆衛生看護学実習II」を3単位から2単位に変更。

#### 【新規科目の追加】

- ・ 領域科目で扱っていた看護倫理について総括的に学ぶ必要があるという理由により、「倫理学」を科目追加。 ・ 自然科学の選択科目がないという理由により、「ヒトと自然の共生」を科目追加。 ・ 自然科学の選択科目がないという理由により、「加齢の科学」を科目追加。

- ライフステージ別・対象集団別の公衆衛生看護活動に関する内容を拡充するという理由により、「公衆衛生看護学活動論」を科目追加。 【配当年次の変更】
- 学修効果を高める理由により
- ①「哲学」を「哲学Ⅱ」の「1年集中」から「1年前期」に変更。 ②「英語Ⅱ(聞く・話す)」を「2年前期」から「1年後期」に変更。
- ③「医学英語 I」を「1年後期」から「2年前期」に変更。
  ④「中国語」、「スペイン語」、「ハングル」を「1年後期」から「2年後期」に変更。
  ⑤「形態機能学 I」を「1年通期」から「1年前期」に変更。
  ⑥「形態機能学 I」を「1年通期」から「1年後期」に変更。
  ⑦「病理病態生理学を「2年前期」から「1年後期」に変更。

- ⑧「病態・疾病治療論Ⅰ」を「2年通期」から「2年前期」に変更。⑨「病態・疾病治療論Ⅱ」を「2年通期」から「2年前期」に変更。
- ⑪「病態・疾病治療論Ⅲ」を「2年通期」から「2年後期」に変更。 ⑪「病態・疾病治療論Ⅳ」を「2年通期」から「2年後期」に変更。
- ①「病態・疾病治療論Ⅴ」を「2年通期」から「3年前期」に変更。
- ③「生命倫理」を「2年後期」から「3年前期」に変更。
- ④「臨床心理学」を「1年後期」から「2年後期」に変更。
- ⑤「看護教育論」を「4年通期」から「4年前期」に変更。
- ⑥「精神看護学概論」を「2年後期」から「2年前期」に変更。
- ③ 「精神看護学方法論」を「3年前期」から「2年後期」(で変更。 ③ 「看護課題探求 I 」を「4年通期」から「4年前期」に変更。
- ⑨「エンドオブライフ・ケア」を「3年前期」から「4年前期」に変更。

- ⑩「公衆衛生看護学概論」を「2年後期」から「3年前期」に変更 ①「公衆衛生看護学Ⅱ」を「3年前期」から「3年後期」に変更。 ②「公衆衛生看護学Ⅱ」を「3年前期」から「4年前期」に変更。 ②「公衆衛生看護学Ⅱ」を「3年前期」から「4年後期」に変更選択。
- 学修の順序性を確保する理由により、
- 予修の順序はで唯体する程田にあり、 ①「大学基礎セミナーⅢ(情報)」を「1年後期」から「1年前期」に変更。 ②「保健統計学Ⅰ」を「2年前期」から「2年後期」に変更。 ③「保健統計学Ⅱ」を「2年前期」から「3年前期」に変更。 ④「遺伝学の基礎」を「3年前期」から「3年前期」に変更。

- ⑤「基礎看護技術論Ⅱ」を「1年後期」から「2年前期」に変更。 ⑥「ヘルスアセスメント方法論Ⅰ」を「2年通期」から「1年後期」に変更。 ⑦「ヘルスアセスメント方法論Ⅱ」を「2年通期」から「2年後期」に変更。 ⑧「地域・在宅看護学Ⅰ」の「1年前期」、「地域・在宅看護学Ⅱ」の「3年 「地域・在宅看護学Ⅱ」の「3年前期」から「地域・在宅看護学Ⅰ」の専任教員等の配置を
- 「1年後期」にを整理統合。
- ⑨「地域・在宅看護学Ⅱ」を「2年後期」から「2年前期」に変更。⑩「看護課題探求Ⅱ」を「4年通期」から「4年後期」に変更。
- ・臨地実習時期の改善の理由により
- ①「看護研究法」を「3年後期~4年前期」から「3年前期」に変更。
- ②「看護提供システム論」を「3年後期~4年前期」から「4年前期」に変更。
- ③「災害看護学」を「3年後期~4年前期」から「4年前期」に変更。 ④「国際看護学」を「3年後期~4年前期」から「4年後期」に変更。
- ⑤「在宅生活支援実習」を「3年後期~4年前期」を「3年後期」に変更。
- ⑥「成人看護学実習」を「3年後期~4年前期」から「3年後期」に変更。
- ⑦「老年看護学実習」を「3年後期~4年前期」から「3年後期」に変更。
- ⑧「小児看護学実習」を「3年後期~4年前期」から「3年後期」に変更。
- ⑨「母性看護学実習」を「3年後期~4年前期」から「3年後期」に変更。
- ⑩「精神看護学実習」を「3年後期~4年前期」から「3年後期」に変更。 ①「統合実習 I (管理実習)」を「4年後期」から「4年前期」に変更。
- ①「統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)」を「4年後期」から「4年前期」に変更
- ③「公衆衛生看護学実習Ⅱ」を「4年後期」から「4年前期」に変更。
- 【専任教員の配置】指定規則の改正に伴う教育課程の変更の理由による。
- ·名称及び内容変更の理由により、「大学基礎セミナー I 」の専任教員等の配置を、「大学基礎セミナー」の「教授 1 、准教授 3 、講師
- 「10000mg では、 100mg では、 ら「教授2、准教授3、助教7、兼1」に変更。 ・内容変更の理由により、「形態機能学Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1、兼2」及び「形態機能学Ⅲ」の「兼3」から「助教1、兼
- 3」に変更(R4年2月AC教員審査済)。

- ・科目分割の理由により、「病態・疾病治療論 I 」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、兼6」から「教授1、兼3」に変更(R4年2 月AC教員審査済)
- ・科目分割の理由により、「病態・疾病治療論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3、兼11」から「准教授1、兼4」に変更(R4 年2月AC教員審査済)
- ・科目分割の理由により、「病態・疾病治療論Ⅲ」 「教授1、兼4」に変更(R4年2月AC教員審査済) 「病態・疾病治療論Ⅲ」の専任教員等の配置を、「病態・疾病治療論Ⅰ」の「教授1、准教授2、兼6」から
- ・科目分割の理由により、 「病態・疾病治療論Ⅳ」の専任教員等の配置を、「病態・疾病治療論Ⅱ」の「教授3、准教授2、兼11」から 「准教授1、兼6」に変更(R4年2月AC教員審査済)
- ・科目分割の理由により、「病態・疾病治療論 V 」の専任教員等の配置を、「病態・疾病治療論 I 」の「教授 1 、准教授 2 、兼 6 」から 「教授1、准教授1、兼4」に変更 (R4年2月AC教員審査済)
- ・整理と統合に伴う名称及び内容変更の理由により、「総合医療論」の「兼1」、「健康社会学」の「兼1」、「ヒューマンケア論」の「教授2、兼3」から「健康科学概論」の専任教員等の配置を「教授3、助教1、兼5」に変更(R4年2月AC教員審査済)。 ・授業拡充の理由により、「保健医療福祉行政論」の専任教員等の配置を「教授1、兼2」から「教授1、助教2、兼2」に変更(R4年2
- 月AC教員審查済)
- 名称及び内容変更の理由により、 「リハビリテーション概論」の専任教員等の配置を、「リハビリテーション看護論」の「兼1」から 「准教授1、兼3」に変更(R4年2月AC教員審査済)
- ・名称及び内容変更の理由により、「遺伝学の基礎」の専任教員等の配置を、「遺伝看護学」の「准教授1、兼1」から「准教授1、兼 2」に変更 (R4年2月AC教員審査済)
- ・内容変更の理由により、「基礎看護技術論 I」の専任教員等の配置を「教授 1、講師1、助教 1」から「准教授1、講師1、助教 3」に変 更 (R4年2月AC教員審査済)
- ・内容変更の理由により、「基礎看護技術論Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1、助教2」から「講師1、助教3」に変更(R4年2月AC 教員審査済)
- が見いた。 ・科目分割の理由により、「ヘルスアセスメント方法論 I 」の専任教員等の配置を、「ヘルスアセスメント方法論」の「教授1、講師1」から「教授1、准教授1、講師1」に変更(R4年2月A C教員審査済)。また、「ヘルスアセスメント方法論 I 」の専任教員等の配置を、「ヘルスアセスメント方法論」の「教授1、講師1」から「教授1、講師1」に変更(R4年2月A C教員審査済)。
- ・科目統合の理由により、「地域・在宅看護学I」の「教授 1、助教 1」、「地域・在宅看護学II」の「教授 1、講師 1、助教 2」の統合 から「地域・在宅看護学 I」の専任教員等の配置を「教授 1、講師 1、助教 2」に変更(R4年2月 A C 教員審査済)。 ・内容変更の理由により、「在宅看護学概論」の「兼 1」から「地域・在宅看護学 II」の専任教員等の配置を「講師 1、兼 1」に変更(R4
- 年2月AC教員審査済)
- ・授業拡充の理由により、「成人看護学概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更(R4年2月AC教員審査済)
- ・内容変更の理由により、「成人看護学方法論 I 」の専任教員等の配置を「准教授 1 」から「教授 1 、准教授 1 、助教 1 」に変更 (R4年2 月AC教員審査済)
- ・授業拡充の理由により、「成人看護学方法論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更(R4年2月 A C教員審査済)
- ・辞任教員の専任補充(R3年8月及びR3年11月AC教員審査済)の理由により、「小児看護学方法論」の専任教員等の配置を「准教授1」 から「准教授1、助教1」に変更(R4年2月AC教員審査済)
- ・授業拡充の理由により、「母性看護学方法論」の専任教員等の配置を「講師1、助教1」から「教授1、講師1、助教1」に変更(R4年 2月AC教員審査済)
- ・兼担教員の辞任及び専任補充(R3年8月AC教員審査済)の理由により、「IPW演習I」の専任教員等の配置を「教授4、准教授4、講師 4、助教4、兼4」から「教授3、准教授4、講師4、助教4、兼3」に変更。
- ・兼担教員の辞任及び専任補充(R3年8月AC教員審査済)の理由により、「IPW演習II」の専任教員等の配置を「教授4、准教授4、講師 4、助教4、兼4」「教授3、准教授4、講師4、助教4、兼3」に変更。
- ・担当内容変更の理由により、 「看護提供システム論」の専任教員等配置を「教授1」から「教授 1 、助教1」に変更(R4年2月AC教員審 杳済)
- ・名称及び内容変更の理由により、 「看護の専門と発展」の専任教員等の配置を、「統合演習」の「教授4、准教授4、講師4、助教8」 から「教授3、助教1」に変更(R4年2月AC教員審査済)。
- ・科目分割及び内容変更の理由により、 「看護課題探求Ⅰ」の専任教員等の配置を、 「看護課題探求」の「教授5、准教授4、講師4、助 教8」から「教授5、準教授4、講師4、助教9」に変更(R4年2月AC教員審査済)。 ・科目分割及び内容変更の理由により、「看護課題探求Ⅱ」の専任教員等の配置を、「看護課題探求」の「教授5、准教授4、講師4、助
- 教8」から「教授5、準教授4、講師4、助教9」に変更(R4年2月AC教員審査済)
- ・名称及び内容変更の理由により、 「成人看護学方法論Ⅲ」の「教授1、講師1、助手1」から「エンドオブライフ・ケア」の専任教員等 の配置を「准教授2、講師1」に変更(R4年2月AC教員審査済)
- 。名称及び内容変更の理由により、「ヒューマンケア体験実習」の「教授2、准教授3、講師1、助教3」から「早期体験実習」の専任教 員等の配置を「准教授1、講師1、助教3」に変更(R4年2月AC教員審査済)。
- ・名称及び内容変更の理由により、「基礎看護技術実習」の「教授4、准教授4、講師3、助教4、助手1」から「基礎看護学実習I」の 専任教員等の配置を「講師1、助教3」に変更(R4年2月AC教員審査済)
- ・名称及び内容変更の理由により、「看護展開論実習」の「教授4」、推教授4、講師3、助教4、助手1」から「基礎看護学実習Ⅱ」の専 任教員等の配置を「講師1、助教3、助手1」に変更(R4年2月AC教員審査済)。 ・名称及び内容変更の理由により、「成人看護学実習Ⅰ」の「准教授1、助手1」、「成人看護学実習Ⅱ」の「教授1、助教1、助手2」、成
- 人看護学実習Ⅲ」の「助教3、助手1」から「成人看護学実習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1、助手2」に変更(R4年2月 A C教員審査済)
- へら殺員権 ・名称及び内容変更の理由により、「老年看護学実習 I 」の「准教授 1、講師 1、助教 1 」、「老年看護学実習 I 」の「准教授 1、講師 1、助教 1 」から「老年看護学実習」の専任教員等の配置を「准教授 1、講師 1、助教 1 」に変更(R4年2月A C 教員審査済)。 ・名称及び内容変更の理由により、「統合実習」の「教授 3、准教授 4、講師 4、助教 7、助手 2 」から「統合実習 I (管理実習)」の専
- 任教員等の配置を「教授3、准教授4、講師4、助教8、助手2」に変更(R4年2月AC教員審査済)
- ・名称及び内容変更の理由により、「統合実習」の「教授3、推教授4、講師4、助教7、助手2」から「統合実習I (地域包括ケア実習)」の専任教員等の配置を「教授4、准教授4、講師4、助教10、助手2」に変更(R4年2月AC教員審査済)。
- ・内容変更の理由により、「公衆衛生看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、助教2」に変更(R4年2月AC教員審 杳済)
- ・名称及び内容変更の理由により、「公衆衛生看護学 I 」の「教授 1 、助教 1 」から「公衆衛生看護学方法論 I 」の「教授 1 、助教 2 」に 変更 (R4年2月 A C 教員審査済)
- ・名称及び内容変更の理由により、 「公衆衛生看護学Ⅱ」の「助教1」から「公衆衛生看護学方法論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、 助教2」に変更(R4年2月AC教員審査済)
- ・名称及び内容変更の理由により、 「公衆衛生看護学Ⅲ」の「教授1」から「公衆衛生看護学管理論」の専任教員等の配置を「教授1、助 教2」に変更(R4年2月AC教員審査済)
- ・科目の追加の理由により、「倫理学」の専任教員等に「兼1」を配置。
- ・科目の追加の理由により、「ヒトと自然の共生」の専任教員等に「兼1」を配置。
- ・科目の追加の理由により、「加齢の科学」の専任教員等に「兼1」を配置。 ・科目の追加の理由により、「公衆衛生看護学活動論」の専任教員等に「教授1、助教2」を配置。

### (2) 授業科目数

		設	置時	の計画								変更	状況							/ <del>#</del>	考
必修	多	選択		自由	計(	A)		必修	<b>§</b>		選択	7		自由			計			1/10	<i>1</i> 5
71	科目	27	科目	科目	98	科目	7	1 0	科目	2	7 0	科目	[	0	科目	g [	8	科目	心放		\(\delta 5\) \(\delta 3\) \(\delta 2\)

(注)・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 [ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目滅の場合: $\Delta$ 1)

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						
4				·	·	

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし		

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

<i>(</i>	「設置時の計画の授業科目数の計」	ノー ナナーナ つ	ィロ ヘニ・	
$( \hookrightarrow )$	- 1 52声诗(八字)周(八)		;( )	
( ( ) /		(0.8495)	4 <b></b>   0   1   1	

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0	04
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	98	=		70

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分					内					1	容				備考
(1)		区	分		専		用		共	用			用する他の 校等の専用			計		
		校舎	敷地	<u>h</u>	-	7, 718	3. 75 m²			1	'n			m²	-	7, 718. 75	ō m²	
校		運動	場用地	ļ.	1	1, 387	7. 02 m²			-	'n			m²	1	, 387. 02	2 m²	
+4h		/]\	計	-	Ç	9, 105	5.77 m²				'n			m²	Ç	9, 105. 7	7 m²	
地	そ	の他	(駐車	[場等)	2	2, 764	1.08 m²			ı	'n			m²	2	2, 764. 08	3 m²	
等	そ(	の他	(クリニッ	ク用地)		653	3. 23 m²			1	'n			m²		653. 23	3 m²	
		合	計		12	2, 523	3. 08 m <sup>2</sup>				'n			m²	12	2, 523. 08	3 m <sup>2</sup>	
					専		用		共	用			用する他の 校等の専用			計		
(2) 校			舎		11	1, 734	1.73 m <sup>2</sup>				'n			m²	11	, 734. 73	3 m²	大学全体
					( 11, 7	734. 7	73 m²)	(		m²)	(		m³)		( 11,	734. 73	m²)	
				講	義室		演習	室室		実験実	習室		情報処理学習	施設	語句	学学習施	設	
(3) 教		室	等	,		室		10	室		3 =	室		室	<u> </u>		室	南館 (看護学部)
				(兼	:用 1 室含 ŧ	(ژ							(補助職員	人)	(補助	職員	人)	
(4) 専	任教	員研究	室				新設学部	等の名	称				室		数			
							看護学部		学科				21	1			室	
	<b></b>	折設学音	R 等		図 書		学術						視聴覚資料	機械	・器具	標	本	
(5)	Φ.	の名称		〔う	ち外国書〕		〔うちタ	<b>卜国書</b> 〕		電子ジャ								
				25.	602 [ 171	1	1, 528	[ 4 ]	種	〔うち外 1,505〔		+	点 (191)	4.	399	12	点 5	図書に電子書籍3,704
				22,	878 ( 160 7, 452) [29	j	1, 300 (2, 950)	[5]		1, 296 ( (2, 923) [	<del>-</del> )		(131 )		322	11		冊を含む(元) 図書に電子書籍829冊
図書		看護学	部	_(25,	424) [18 124 [161]	8)	(2, 568 (1, 451	(974)	)	(2, 541 (1 (1, 505 (	973] )		_(195)_ _(191_)_		399 ) 322 )	( 12 -(11		の増を含む(2) 図書に電子書籍440冊
• 設					678 (130) 602 ( 171		(1, 300 <u>[</u>		<del></del>	(1, 266 [ 1, 505 [		+	(131)	4	399	12	5	の増を含む(3) 図書に電子書籍607冊
備				22,	878 [ 160	)	1, 300	(5)		1, 296 [	<del>-</del> )		_(_131_)		322	11		の増を含む(4) 視聴覚資料のうちVHS
		計		_(25,	7, 452) [29 424) [18	8]	(2, 950) -(2, 568	[974]	)	(2, 923) [( (2, 541 [(	973] )		(118) -(195)		399 )	( 12		ビデオテープ除籍85タイトル(4)
					124 (161) 678 (130)		(1, 451 (1, 300 [			(1, 505 ( (1, 266 (		:	<del>(191)</del> <del>(131)</del>	(-4,	322 )	<del>-(11</del>	1)—	
(6)		-	&ch		面		積			閲覧座	席数		収	納	可能	<del>    </del>	数	
(6) 図		書	館				633. 52	m²		142 134						40, 00	00 <del>m</del>	
(7) 体		育	館		面		積			1	本育館以	以外	のスポーツ施	設の	既要			
(1) 4		P .	MD				492. 48	m²			バスケ	アツ	トボールコー	· <b>卜</b> 1 [	面			南館敷地内
	T	経費	Σ	ζ	分	屏	設年度	完成	年度	区	分		開設前年度		<b>设年度</b>	完成:		
(8)			教員 1	人当り	研究費等		250千円	2	250 <b>千</b> F	円 図書類	<b></b>		3, 800	2,	500千円		00千円 00千円	図書購入費の増額
経費の積	での見 )及び ち方法 共同研究費:						3,000千円	3, 0	000千F	設備!	<b></b>		155,000千円		194千円 000千円	3, 00	00千円	(2)
維持方の 概		学生 1 .		第	1 年次		第2年次		第3	年次	第4	年》	欠 第5	5年次	:	第6年	次	
		納付	並		1,600千円		1,520∓	円	1,	520千円	1,	520	0千円	_	千円		一千円	
		学生:	納付金	以外の	維持方法の	概要	<u> </u>											

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、<u>その他の</u> 項目はA C 対象学部等の数値を記入してください。)
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和 4 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
  - ・ <u>昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正</u>するとともに、 <u>その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入</u>してください。
    - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、<u>見え消しのまま黒字にしてください</u>。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

### 4. 既設大学等の状況

大学の名称		長 野	保份	建医	療大	学	学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数		備	考
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度		
保健科学部												
リハビリテーション学科	4	80	-	320		1. 13	1. 16	-		長野県長野市川中島町今井原11-1		
理学療法学専攻	4	40	-	160	学士 (理学療法 学)	1. 15	1. 17	-	平成27	同上		
作業療法学専攻	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.11	1. 15	-	平成27	同上		
<u>看護学部</u>										-		
<u>看護学科</u>	4	80	-	320	学士(看護学)	1. 04	0. 91	-	令和元	長野県長野市川中島町今井原11-1		
大学全体	-	160	-	640	-	1. 08	1. 03	-	-	-		

大学の名称	長	野保	健 医	療った	大 学 ;	大 学 院	学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数		備	考
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度		
保健学研究科 保健学専攻	2	8	_	16	修士 (保健学)	0. 50	0. 37	-	令和3	<b>系野根長野市川中島町今井原11-1</b>		
大学院全体	-	8	-	16	-	0. 5	0. 37	_	-	-		

大学の名称							学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数				備	考
既設学部等の名称	修業 年限		編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所	在	地		
	年	人	年次 人	人		倍	倍							

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び
  - 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
  - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・<u>本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください</u>。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

#### 5 教員組織の状況

### <看護学部 看護学科>

(1)一① 担当教員表

		担当教員表 は届出時】	【令和	1元年	度】	[-	令和 2	年度】	【令	和3年	:度】	【令和	4年度旧	カリ】	[令	和44	<b>[度新カリ</b> 】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) 《就任 (予定) 年月 > 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任兼任の分	E ·	氏 名 (年 齢) 名 (年 齢) 4 (年 齢) 4 (平 齢) 4 (平 齢) 4 (平 産) 4 (平 E) 4 (	専任・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	専任・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) < 就任 (予定) 年月 > 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名
		井部 俊子 (72) 〈平成31年4月〉 博士 (看護学)			井部 俊子 (72) (平成31年4月) 博士 (看護学)			井部 俊子 (73) 〈平成31年4月〉 博士 (看護学)			井部 俊子 (74) 〈平成31年4月〉 博士 (看護学)			井部 俊子 (75) 〈平成31年4月〉 博士 (看護学)			井部 俊子 (75) 〈平成31年4月〉 博士 (看護学)
専	教授	看護学概論 看護護難提来 ヒューマンケア論 ※	専	教授	看護学概論 <b>帯護提供システム論</b> 帯護課難探求 ヒューマンケア論 ※	ā	ş #9	受 者護学概論 者護提供システム論 者護課題提供 ヒューマンケア論 ※	専	教授	看接学根論 看接接長システム論 看接接最接求 ヒューマンケア論 ※	専	教授	看護学概論 <b>考証を実施</b> 看護課難提求 モューマンケア論 ※	専	教授	大学基礎セミナー I 米 健康科学都論 米 看接字板論 有接效有論 可服務をシステム論 米 可服の専門と発展 米 可能研究以下 可能研究以下 可能研究以下 可能研究以下 可能研究以下 可能研究が 可能研究が 可能研究が 可能研究が 可能研究が 可能研究が 可能研究が 可能研究が 可能研究
		坂口 けさみ (66) 〈平成31年4月〉 博士 (医学)			坂口 けさみ (66) 〈平成31年4月〉 博士 (医学)			坂口 けさみ (67) 〈平成31年4月〉 博士 (医学)			坂口 けさみ (68) (平成31年4月) 博士 (医学)			坂口 けさみ (69) 〈平成31年4月〉 博士 (医学)			坂口 けさみ (69) 〈平成31年4月〉 博士 (医学)
専	教授	大学社会 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	専	教授	大学基礎學報論 技學報論 特合演習 整理者 整理者 整理者 整理者 整理者 整理者 整理者 整理者	T.	ş #	大・ナー 日本	専	教授	大学基礎セミナー 的性者提字製施 熱合演習 者提及提供求 者提及開始 者提及開始 者提及開始 等 時 を を で で で で で で で で で で で で で	専	教授	大学基礎セミナー 担任者提学概論 独会深習 者態度超探求 差配者應接納栄習 者態度開始栄養習 社会衰習 社会衰習 力子体験実習 IP解深習 I IP解深習 I	専	教授	大学基礎を見すー I 版 大学基礎を見ず一 I (開催) ※ 維養教学報酬 所任者哲学年報 所任者哲学子方法論 ※ 者の事門と機職 者理解理技术 者理解理技术 者理解理技术 を表現して管理表現 能会表現 I (管理表現) を会えて 表現して管理表現 を表現して管理表現り を表現して管理表現して管理表現を表現して を表現して管理表現り を表現してを表現してを表現してを表現してを表現してを表現してを表現してを表現して
		林 かおり (53) 〈令和2年4月〉 博士 (保健学)			林 かおり (52) (令和2年4月) 博士 (保健学)			林 かおり (53) (令和2年4月) 博士 (保健学)			林 かおり (54) 〈令和2年4月〉 博士 (保健学)			林 かおり (55) 〈令和2年4月〉 博士 (保健学)			林 かおり (55) 〈令和2年4月〉 博士 (保健学)
専	教授	等等。 等等等。 等等等。 等等等。 等等等。 等等等。 等等等。 等等等。 等等等。 等等等。 等等等。 等等等。 等等等。 等等。 等等。 等等。 等等。 等等。 等等。 等等。 等等。 等。	専	教授	等等。 等等等等等。 等等等等等。 等等等等等。 等等等等等。 等等等。 等等。 等。	草	李  **	病恐病病病病病病病病病病病病病病病病病病病病病病病病病病病病病病病病病病病	専	教授	病能 · 庆病治療論 I ※	專	教授	新疆。 布鲁市港灣計畫 ※ 新疆 · 布鲁市港灣計畫 ※ 新疆 · 布鲁南市港灣計畫	専	教授	大学基礎をミナー! ※
-		極貝 繁香 (48) 〈平成31年4月〉			樋貝 繁香 (48) 《平成31年4月》			極貝 繁香 (49) 〈平成31年4月〉									
専	教授	博士 電镀学) 大字磁程 64 テー 病態・疾病治療論 1 ※ 小児生態学学力 点 不成功 1 ※ 基礎機能技術実質 基礎機能技術実質 新生成 1 ※ 「中央版質学の大学、 1 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※	専	教授	博士 (報鑑学) 大学基性も大学 大学基性も大学 有等。所述機能 ※ 有等。所述機能 ※ 有等。所述機能等 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	草	写 對	博士(管理中) 大平高岭上之十一 病的。疾病治愈胎 I ※ 小児を建于力力施 小児を建于力力施 小児を建于力力施 ※ 本便を提供が実習 高極を提供が実習 素を提供が実習 の使うなです。 大学のである。 一型のでは、 一定のでは、 一定のである。 一定のでは、 一定			川崎 千恵 (48) (平成3) (平成3)			川崎 干惠 (49) (平泉2144月)			川崎 千惠 (49) (平東近144月)
専	教授	博士 (看護学) 伊護斯 (本社) (子 (本社) (本社) (本社) (本社) (本社) (本社) (本社) (本社)	專	教授	博士 (有護学) 特士 (有護学) 経験を担任行動 ※ 対域を保証を担任行動 ※ 対域を保証を発生を表す。 ・	草	事 教	博士(看護学)  「福護学)  「福護学」  「福祉学」  「福祉学	専	教授	博士 (看護学)  保健医療福祉行政論 ※ 地域・在宅看護学 I ※ 地域・在宅看護学 I ※ 統合演習 看護課題探求	專	教授	博士 (積速学) ・ (積速学) ・ (積速を出行さ始 ・ (積速を出行さ始 ・ (本を考慮学) ・ (本を考して) ・ (本を考して)	専	教报	博士 (看護学)  保健医療福祉行政論 ※  地域。在电景觀學 I ※  IPW演習 I
専	教授	美村 儒彦 (63) (年成31年4月〉 修士(教育学) 英語1 医学英語1 医学英語1 医学李英語1 医学李美語1 医学李美語1	専	教授	集村 信彦 (63) (平成3)44月) 修士(教育学) 英語「 英語「英語」 英語「英語」 英語「英語」 英語「英語」 英語「英語」	Ŗ	事 報	與村 (信彦 (明志)(44月) (明志)(44月) (第五 (後有字)) (東京 (長有字)) (東京 (	専	教授	集村 信彦 〈平原31年4月〉 修士〈教育学〉 英語 I 医学英語 I 医学学英語 I 医学学英語 I 医学等英語 I 医学等英語 I 医学等英語 I	専	教授	奥村 信彦 (向6) (平成194月) (孝士(教育学)  英語 I 医学英語 I 医学英語 I 医学英語 I 医手类語 I 医手类語 I 医中 高政	専	教授	展覧 (同く・医す) 医学英語 I 英語 正英語 正英語 正英語 正中 - 高政
専	教授	(60) (令和244月) 修士 (医科学) 修士 (医科学) 修士 (医科学) 係基礎工程之メント方法論 ※ 疾病治療論Ⅱ ※ (本元文 (本元文 (本元文 (本元文 (本元文 (本元文 (本元文 (本元文	専	教授	(59) 全年(4月) 後土 (58年) 4年(4月) 後土 (58年) 4年(4月) 後土 (58年) 4年(4月) 4年(4	草	專 教	(60) (令和244月) 等土(原料学) (会和244月) (会和244	専	教授	(61) (令和2年月) (令和2年月) (令和2年月) (令和2年月) (令和2年月) (会和2年月)	専	教授	(62) ・令和2年4月) 第七 (原料学) 第七 (原料学) 第七 (原料学) 第一 (原	専	教授	(02) (中枢2年4月) 第主 (京林中) 第主 (京林中) 第主 (京林中) 大学基础をネナー (原語) 《ルスマセスシン方機会主 新神衛型学用途 神神衛型学用途 中国第二十一 (原語) 「原語」 「原語」 「原語」 「原語」 「原語」 「原語」 「原語」 「原語」
兼任	講師	田中 高政 (59) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70	兼任	講師	田中 高政 (59) 〈平成31年4月〉 修士 (既科学) <b>保証ポランティア</b> 基礎看護技術論 I ※												

22

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 幣) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 侵有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 龄) <就任(予定)年月> 候有字位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)  <就任 (予定) 年月>  使有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 前) <就任(予定)年月> 候有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> (保有学位等  担当授業科目名
		水箭 知子 (55) 〈平成31年4月〉 博士 (看護学)			水酱 知子 (55) 〈平成31年4月〉 博士 (看護学)			水衡 知子 (56) 〈平成31年4月〉 博士 (看護学)			水普 知子 (57) 〈平成31年4月〉 博士 (看護学)			水奇 知子 (58) 〈平成31年4月〉 博士 (看護学)			水衡 知子 (58) 〈平成31年4月〉 博士 (看護学)
専	准教授	大学塾・研究・大学塾・研究・大学塾・研究・大学塾・研究・大学塾・研究・研究・研究・研究・研究・研究・研究・研究・研究・研究・研究・研究・研究・	専	准教授	大学記・技術を対しています。 大学記・技術を対しています。 大学記・技術を対しています。 大学記・技術を表する。 大学記・技術を表する。 大学記・技術を表する。 大学記・技術を表する。 大学記・大学記・大学記・大学記・大学記・大学記・大学記・大学記・大学記・大学記・	專	准教授	大学基礎を治療論』 ※ 特別・疾病治療論』 ※ 特別・疾病治療論』 ※ 特別・疾病治療法 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	専	准教授	大学記号 (共産党 ) 大学記号	專	准教授	大学基 疾病治療機論 I ※ 保持治療論 I ※ 保持治療論 I ※ 保持治療法 原共力 (	専	准教授	・学高をとまって 1 ※ 中高を登します。 を向きませます。 をのかきまま ※ 中書・原本作業 2 ※ へんのマセメント 力機動 1 ※ へんのマセメント 力機動 1 ※ へんのマセメント 2 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※
専	准教授	常経 幸代 (150) (150	専	准教授	宮庭 (50) (4月) (50) (4月) (7年) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月) (4月	專	准教授	宮庭 幸代 (50) (4月) (50) (4月) (50) (4月) (50) (4月) (50) (4月) (50) (50) (50) (50) (50) (50) (50) (50	専	准教授	宮城 (50) (4月) (50) (4月) (7年) (4日) (4日) (4日) (4日) (4日) (4日) (4日) (4日	専	准教授	宮経 李代 (50) 4月3 (51) 4月3 (61 - 1 年度) 1月3 (61	専	准教授	定越 幸代 (50) (50) (50) (50) (50) (50) (50) (50)
		鈴木 真理子 (55) 〈令和2年4月〉 修士(看護学)			鈴木 真理子 (54) 〈令和2年4月〉 修士 (看護学)			鈴木 真理子 (55) 〈令和2年4月〉 修士(看護学)			鈴木 真理子 (56) 〈令和2年4月〉 修士 (看護学)			鈴木 真理子 (57) 〈令和2年4月〉 修士 (看護学)			鈴木 真理子 (57) 〈令和2年4月〉 修士 (看護学)
専	准教	商等。 在 有效 是	専	准教授	※※	専	准教授	係物。 保存活用 " ※	専	准教授	無	專	准教授	係能・疾病治療論 I ※ 病能・疾病治療論 I ※ 病能・有理・ 病性・ 病性・ 病性・ 病性・ 病性・ 病性・ 病性・ 病性・ 病性・ 病性	専	准教授	大学基礎セミナー I (国際) ※ 以りだりテーション機能 ※ 並位学の基礎 ※ 並ん学の基礎 ※ ※ 上人を選挙が大法能 I ※ IPR深密 I 理解無理原文 I  エンドルプライフ・ケア ※ 成人を選手、要 を発表 I (管理表理)  を会会 I (管理表理)
											内田 美車子 (81) (令和3年9月) 学士(養養)			内田 美産子 (82) (令和3年9月) 学士(蒙養)			内田 美車子 (62) (令和3年9月) 学士(後幾)
									*	被数据	大学基礎セミナー 病態・疾病治療能工 ※ 小見音間時間中小見音 所見一直 所見一直 所見 所見 所見 所見 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所		准备提	大学基礎セミナー 病性・疾病を接直 I ※ 小見書館学が出資 ※ 終合演習 明確認可能が実質 等値解理解象 基礎 新聞表現 所見明確定等 小見書館を有 が見り を が見り に いた に に に に に に に に に に に に に に に に に	*	准数	大学基礎セミナーI (開 等) ※ 病理・疾病治療論マ ※ 小児者健学経論・ 小児者健学技論 ※ IP放置 I 同僚盟 I 同僚盟 I 同僚監督末 I 可能能是原末 I 可能能是原末 I 可能能是原末 I 可能的失致 I (連携等) 表表表質 I (連携を) 表表質 I (連携を)
		田渕 祥惠 (51) 〈平成31年4月〉 修士 (保健学)			田渕 祥恵 (51) 〈平成31年4月〉 修士 (保健学)			田測 祥惠 (52) 〈平成31年4月〉 修士 (保健学)			田測 祥恵 (53) 〈平成31年4月〉 修士 (保健学)			田渕 祥惠 (54) 〈平成31年4月〉 修士 (保健学)			田測 祥惠 (54) 〈平成31年4月〉 修士 (保健学)
専	講師	大学基礎セミナー 基礎需整技術論 1 ※ 基礎需要技術論 2 ※ 人のスプセスメント方法論 ※ 統合経過程度 基礎開始表面 基礎展開論表面 医型子工学・アケー 「特別表面」 「特別表面」 「特別表面」 「特別表面」 「特別表面」	専	講師	大学を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	專	講師	大学基礎セミナー 基礎者就技術論 I ※ 基礎者就技術論 I ※ 基礎者就成功論 I ※ 基礎者就所論 I ※ 基礎 I 》 基礎 I 》 基礎 I 》 基礎 I 》 基礎 I 》 基礎 I 》 基礎 I 》 基础 I 》 是 I 》 E I 》	専	講師	大学基礎セミナー 基礎を担任が開催 1 ※ 人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	專	講師	大学基礎を計画は 1 ※ 大学基礎を開始 1 ※ ヘルスプをスメント方法論 然合族建設が表演 基礎機能が決定 基礎機能が決定 1 を表現を表現 1 に対して、 1 に対して 1 に対して 1 に対して 1 に対して 1 に対して 1 に対して 1 に対して 1 に対して 1 に対して 1 に	專	講師	基準を対象機工 ※ 基準を対象機工 ※ ルスアセスメント方機関工 ドルスアセスメント方機関工 ドルスドロス・ファット ドルスドロス・ファット ドルスドロス・ファット ・ファ ・ファ ・ファ ・ファ ・ファ ・ファ ・フ ・ファ ・フ ・ファ ・ファ
専		条原 負子 (44) (44) (44) (44) (44) (44) (44) (44	専	講師	条原 (43) (43) (43) (43) (44) (44) (44) (44)	專	講師	条原 且子 (44) (44) (40) (40) (40) (40) (40) (40)	専	講師	条原 员子 (45) (45) (中202年月) 株士 (常護学) 老年若世子 (東京) 老年若世子 (東京) 著基礎提展技術英語 著基礎提展技術英語 日本年本 (東京) 日本年本年 (東京) 日本年本 (東京) 日本 (東京	専	講師	条原 負子 (46) (46) (46) (46) (46) (46) (46) (46)	専	講師	泰原 具子 (46) (中紀2年月) 博士 (書館学)  老年新護学方法論 ※ 「門演書」 「門演書」 「門演書」 「日本新芸学大法論 ※ 「門演書」 「中国主義学工 「中国主義学工 「中国主義学工 「中国共産」 「中国共産 「中国共産」 「中国共産 「中国
		模閣 祐子 (57) 〈令和2年4月〉 修士 (人間科学)			模関 祐子 (56) 〈令和2年4月〉 修士 (人間科学)			模閣 祐子 (57) 〈令和2年4月〉 修士 (人間科学)			模関 祐子 (58) 〈令和2年4月〉 修士 (人間科学)			横関 祐子 (59) 〈令和2年4月〉 修士 (人間科学)			模閣 祐子 (59) 〈令和2年4月〉 修士 (人間科学)
専		成地在影響。 ※ 在 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	専	講師	成地名美国 ※ 在	専	講師	成人者在表演 成人者在表演 大演 大演 大演 大演 大演 大演 大演 大演 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	専	講師	成地域主流域 (東京 ) 以 (東京 )	専	講師	成功 "	専	講師	地域・左布管護等 I ※ 地域・在布管護学 I ※ 地域・在布信徒か方法論 I PR演習 I TPR講習 I TPR報報 I ※ 電報報報求 I エンドオウイフ・ケア ※ 在令生気で振頻響 総合業習 I (情報発習) 総合業別 I (情報発習) 表示
		奥原 香織 (47) 〈令和3年4月〉 修士(看護学)			奥原 香織 (45) 〈令和3年4月〉 修士 (看護学)			奥原 香織 (46) 〈令和3年4月〉 修士 (看護学)			奥原 香織 (47) 〈令和3年4月〉 修士 (看護学)			奥原 香織 (48) 〈令和3年4月〉 修士 (看護学)			奥原 香織 (48) 〈令和3年4月〉 修士 (看護学)
専	講師	母性看護学方法論 財政 財政 報題理求 報性看護學 財政 報告未習 1P門演習 1	専	講師	母性看護学方法論 統合演習 看雙問題探求 審 統合案習 IPW演習 I IPW演習 I	専	講師	母性看護学方法論 統合漢智 看護課題探求 同性看護学楽智 統合楽習 IP解楽習 I	専	講師	母性看護学方法論 統合演習 看護學家習 提生看護学 統合宗習 IPN演習 I IPN演習 I	専	講師	母性看護学方法論 統合演習 看護學 理 報告 報告 報告 第 目 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	専	講師	母性看護学方法論 ※ IPR演習 I IPR演習 I IPR演習 I 母親編羅東京 I 母性看護学東習 総合実習 I (管理実習) 能合実習 I (地域包括ケア 実習)

存任・ 検担・ 使任 D別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月 > 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)  <就任 (予定) 年月>  保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) (年 齡) <就任 (予定) 年月 > 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)  <就任 (予定) 年月>  保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
		宮澤 美津子 (66) 〈平成31年4月〉 修士 (教育学)  大学基礎セニナー			宮澤 美津子 (66) 〈平成31年4月〉 修士(教育学) 大学基礎セミナー			宮澤 美津子 (67) 〈平成31年4月〉 修士 (教育学) 大学基礎セミナー 母科サニュニア			宮澤 美津子 (68) (平成31年4月) 修士 (教育学)			宮澤 美津子 (59) 〈平成31年4月〉 修士 (教育学) 大学基礎セミナー			宮澤 美津子 (69) 〈平成31年4月〉 修士(教育学) 大学基礎セミナーⅡ(開新) ※
専	助教	保健計学ンティア 基礎者接触制 1 ※ 基礎者接触制 2 ※ 基礎者接触制 3 ※ 財子 3 ※ 基礎 4 ※ 基础 4 ※ 基础 4 》 基础 4 》 基 4 》 E	專	助教	保健研究 (保健研究 )))))) (()) (()) () () () () () () () (	専	助教	保健ボランティア 基礎物理技術論 I ※ 基礎物理技術論 I ※ 接近報題技術論 I ※ 技術 報題理理解 表看護羅維度 基礎物理 基礎的 基礎的 基礎 更 第	専	助教	保健ボランティア 基礎者では 基礎者提抜物値 1 ※ 競技を 基礎者提抜物値 1 ※ 競技を 者を 基礎者提供 工業 工業 工業 工業 工業 工業 工業 工業 工業 工業 工業 工業 工業	専	助教	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	專	助教	2 瀬寺田牧寺施工 ※ 墓棚寺田北寺 施工 ※ 17年末日 1 17年末日 1 日本 17年末日 1 日本
		ミルズ しげ子 (63) (今和4年4月) 修士 (看護学)			ミルズ しげ子 (61) 〈令和4年4月〉 修士(看護学)			ミルズ しげ子 (62) (令和4年4月) 修士 (者護学)			ミルズ しげ子 (63) 〈令和4年4月〉 修士 (者護学)			ミルズ しげ子 (64) (今和4年4月) 修士 (看護学)			ミルズ しげ子 (64) 〈令和4年4月〉 修士 (看護学)
専	助教	急性・クリティカルケア論 輸金減器 等は課題提求 成人者継挙実習 Ⅲ 統合実習	専		急性・クリティカルケア論 統合演習 者護課題提求 成人者護学実習 財命会算	專	助教	急性・クリティカルケア論 納合演習 結構課課理課 成人者護学実習 国 統合実習	専	助教	急性・クリティカルケア論 統合演響 看護課題探求 成人看護学実習 II 統合英督	専	助教	急性・クリティカルケア論 鉄合演習 着理課題提求 成人者理学実習 II 統合実習	専	助教	大学基礎セミナー I (開盟) 注 反人者間学方法論 I ※ 反人者間学方法論 I ※ 可能を完全 2 年 2 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年
兼任	講師	ミルズ しげ子 (62) (今和344月) 修士 (看護学) 急性・クリティカルケア論	兼任	講師	ミルズ しげ子 (61) (令和3年4月) 修士 (者護学) 急性・クリティカルケア論	兼任	講師	ミルズ しげ子 (62) (令和3年4月) 修士 (看護学) 急性・クリティカルケア論	兼任	講師	ミルズ しげ子 (63) (令和3年4月) 修士 (者護学) 急性・クリティカルケア論						
		小林 由枝 (62) 〈令和4年4月〉 修士 (看護学)			小林 由枝 (59) (令和4年4月) 修士 (看護学)			小林 由枝 (60) 〈令和4年4月〉 修士 (看護学)			小林 由枝 (61) 〈令和4年4月〉 修士(看護学)			小林 由枝 (62) 〈令和4年4月〉 修士 (看護学)			小林 由枝 (62) (令和4年4月) 修士 (看護学) 基础管理技术 (新
専	助教	看護教育 育	専		看護教育論 結合演習 者護課題探求 成及考護学実習 Ⅲ 統合実習	専	助教	看護教育論 統合漢諸獨國 經濟國 經濟	専	助教	看護教育論 統合護課程東京 高 有成人专習	専	助教	看接教育論 精合漢語 程度課題探求 成人看理学実習Ⅲ 統合実習	専	助教	基礎學數技術論工 ※ 有複数存施 有複數經歷末 I 有複數經歷末 I 有複數經歷末 上 I A A A A A A A A A A A A A A A A A A
		塚田   ゆみ子 (61) 〈平成31年4月〉 学士 (教養)			塚田 ゆみ子 (61) 〈平成31年4月〉 学士(教養)			塚田 ゆみ子 (62) 〈平成31年4月〉 学士 (教養)			塚田 ゆみ子 (63) 〈平成31年4月〉 学士 (教養)			塚田 ゆみ子 (64) 〈平成31年4月〉 学士 (教養)			塚田 ゆみ子 (64) 〈平成31年4月〉 学士 (教養)
専	助教	大學基本 在	專	助教	大学基本 名生を報告 1 ※ 本生を報告 2 年 1 ※ 本生を報告 2 年 2 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年	専	助教	大学英雄 (本語学) ※ 新語 (本語学) ※ 新語 (本語学) ※ 新語 (本語学) ※ 新語 (表語学) ※ 新語 (表語学) ※ 新語 (表語学) ※ 新語 (表語》 (表語》 (表語》 (表語》 (表語》 (表語》 (表記》 (表記》 (表記》 (表記》 (表記》 (表記》 (表記》 (表記	專	助教	大学・英雄・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・	専	助教	大學 在 5 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年	専	助教	大学基礎を担于 I ※ 機関等等性
		概内 和子 (53) (今和3年4月) 学士 (教養)			据内 和子 (51) (令和3年4月〉 学士 (教養)			据内 和子 (52) (令和3年4月) 学士 (教養)			堀内 和子 (53) 〈令和3年4月〉 学士 (教養)			堀内 和子 (54) 〈令和3年4月〉 学士(教養)			堀内 和子 (54) (令和3年4月) 学士 (教養)
専	助教	地名建筑学工 ※ 城合建筑学工 场合建筑学工 经合建筑学工 经 经 成本的生生建筑学工 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区	專	助教	地名西班牙里 ※ 地名西班牙里 ※ 地名西班牙里 與 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個	専	助教	地域、在管理 不 地合為建設 不 地合為建設 不 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	専	助教	地域,在在宅看護学 I ※ 被合為經過學 I	専	助教	地域。在宅者護学 I ※ 粉份潔證理 技术 也投資是 基础设计 企业 在	専	助教	大學基礎和 1
専	助教	風間 2021年1~ (2021年1)	専	助教	風間 (5) 月子 (6) 月	専	助教	展開 邦子 (502) (502) (第2) (第2) (第2) (第2) (第2) (第4) (第4) (第4) (第4) (第4) (第4) (第4) (第4			羽田 かおり			羽田 かおり			羽田 かおり
専	助教	(50) 〈令和3年4月〉 修士(看護学)	専	助教	(48) 〈令和3年4月〉 修士(看護学)	専	助教	(49) 〈令和3年4月〉 修士 (看護学)	専	助教	(50) 〈令和3年4月〉 修士(看護学)	専	助教	(51) 〈令和3年4月〉 修士(看護学)	專	助数	利田 かおり (51) 〈令和3年4月〉 修士 (看護学) 大学基礎セミナーI (日番) 接 精神看護学方法論
7	如敬	精神看護学方法論 統合漢習 看護譯題提來 精神有姿習 統合実習	*		精神看護学方法論 統合演習 看護課題探求 精神者護学実習 統合実習	7	-40 TX	精神香護学方法論 統合演習 看護課題探求 看精神看護学実習 統合実習	*	-97 SX	精神看護学方法論 統合漢習 看精神看護學実習 統合実習	7	ay) 9X	精神看護学方法論 統合演習 看護課題探求 精神看護学実習 統合実習	4	-97·5X	精神者提学方法論 者機能無課求 I 者機能無課求 I 精神者提学実習 統合実習 I (管理実習) 統合実習 I (地域包括ケラ 実習)

専任 兼担 兼任 の別	-	氏 名 (年 龄) 《叙任 (予定) 年月〉 假有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月 > 使有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 龄) <就任(予定)年月> 假有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> (保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	任 名 (年 齡) < 就任 (予定) 年月 > 保有学位等
		三橋 陽平 (38) 〈平成31年4月〉			三橋 陽平 (38) (平成31年4月)			EHRATES			MAINATHA			25 412.417 616			25 - 12 - 17 - 17 - 17
専	助勢	博士 (医学) 形態機能学工	専	助教	博士(医学)  形態機能学 II  基礎看護技術論 II ※ 納合課題技術。管 看護課題技術。實 基礎看護規裁技術。實 基礎看護開論樂室 基礎看護開論樂室 II							-					
		統合実習 ヒューマンケア体験実習 小林 明日香 (30)			統合実習 ヒューマンケア体験実習 小林 明日香 (28)							$\vdash$					
専	助勢	〈令和3年4月〉 修士(看護学) (四性看護学方法論	専	助教	〈令和3年4月〉 修士(看護学) 母性看護学方法論												
		母性看護学実習 統合実習			母性看護学実習統合実習			松石 備太郎 (34)			後石 機太郎 (35)			松石 健太郎 (36)			接石 機太郎 (36)
								〈令和2年6月〉 修士 (工学)			〈令和2年8月〉 修士(工学)			《令和2年6月》 修士(工学)			〈令和2年6月〉 修士 (工学) 大学基礎セミナーⅡ (開催)
						*	助教	沙集協会学 I 主要を整改有論 I 米 飲た大学 可能無理求 主要を表文を失管 可能無理求 主要を表文を失管 可能無理ながある。 配入学館学学園 I 飲た失管 ヒューマンケア体験実管 に	*	助數	夢路橋施学 I 基礎管理技術論 I ※ 核合演習 可能調理原本 基礎管理技術奏習 可能原始奏習 技術表質 セニーマンケア体験奏習 ヒューマンケア体験奏習	*	助彼	事準備像学 I 基準管理技術能 I 米 軟合演習 可能源是原本 表準管理技術演習 可能原始演習 成人管理学演習 I 終合演習 ヒューマンケア体験演習	*	助徽	※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※
											HII CHING PING (50) 〈令和3年4月〉 修士 (考願学)	-		HII CHING PING (51) (令和3年4月) 修士(脊髓学)			HII CHING PING (51) 〈令和3年4月〉 修士 (骨膜学)
									*	助做	母性者關學方法論 母性者關學典習 被合実習	*	助教	母性者簡単方法論 母性者簡単実習 被合実習	*	助數	大学基礎セミナーI (画面) ※ ※ 性質簡単方法論 ※ 智能原理規定 I 学問解理規定 I 学問解理規定 I 学性管理学與智 統合実管 I (管理典管) 統合表管 I (施城包括ケア 実質)
											第口 智義 (39) (全和3年12月) 修士 (者談学)	-		港口 智義 (40) 〈令和3年12月〉 修士(智護学)			<b>港口 智義</b> (40) (全和3年12月〉 修士 (者談学)
									*	助數	大學基礎セミナー ※ 老年智能學報論 ※ 老年智能學知論 ※ 老年智能學知論   可能與是原文 基礎學就改善。 基礎學就改善。 本年智能學典書   本年智能學典書   統合實書   「門強語 I  」		助教	大學基礎之上一一 英 金年四個學的演繹 第一個學的演繹 第一個學的 第一個學的 第一個學的 第一個學的 第一個學的 第一個學的 第一個學的 第一個學的 第一個學的 第一個學的 第一個學的 第一個學的 第二個學 第二個學 第二個學 第二個學 第二個學 第二個學 第二個學 第二個學	*	助數	大学基礎セミナー I ※ 大学基礎セミナー I (開版) ※ 老年可能学致施 ※ 老年可能学改施 ※ 可能開展課念 I (可能学改施 ※ 可能開展課念 I (可能学改施 ※ 可能用展記念 I (可能学改施 ※ 可能 I (可能学改施 ※ (の表述) I (可能学位 I ( I ( I ( I ( I ( I ( I ( I ( I ( I
														美口 ゆう子 (58) 〈令和4年4月〉 修士 (看護学)			美口 ゆう子 (58) 〈令和4年4月〉 修士 (看護学)
												*	助教	小児者標準方法論 ※ 統合漢語 統合漢語 基礎有能技術表語 有理解學表語 統合英語 IP和漢書 I IP和漢書 I	*	助數	大学基礎セミナーI (開催) ※ 小児者間学方法論 ※ IP可論書 I 小児者間学典書 成合表書 I (管理表書) 総合実書 I (管理表書) 総合実書 I (地域包括ケア 美者)
兼技	旦 教授	岩谷 カ (76) (平成31年4月〉 医学博士 総合医療論 総合医療論 ※	兼担	教授	岩谷 カ (76) 〈平成31年4月〉 医学博士 総合医療論 ヒューマンケア論 ※	兼担	教授	岩谷 カ (77) (平成31年4月) 医学博士 総合医療論 ヒューマンケア論 ※	兼担	教授	岩谷 カ (78) 〈平成31年4月〉 医学博士 総合医療論 ヒューマンケア論 ※	兼担	教授	岩谷 カ (79) (平成31年4月> 医学博士 総合医療論 ※	兼担	教授	岩谷 力 (79) 〈平成31年4月〉 医学博士
兼技	旦 教授	金物 壽久 (69) 《平成31年4月》 医学博士	兼担	教授	金物 海久 (69) 〈平成31年4月〉 医学博士 病理・病塾生理学 病態・疾病治療論 I ※ ヒューマンケア論 ※	兼担	教授	金物 壽久 (70) 〈平成31年4月〉 医学徒士	兼担	教授	金物 壽久 (71) 〈平成31年4月〉 	兼担	教授	金物 壽久 (72) 《平成31年4月》 医学博士 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼担	教授	金物 壽久 (72) 〈平成31年4月〉 医学博士
兼技	旦 教授	松房 利憲 (69) (平成31年4月) 修士(人間科学) ヒューマンケア論 ※ IPI編書 I IPI編書 I	兼担	教授	松房 利憲 (69) 〈平成31年4月〉 修士(人間科学) ヒューマンケア論 ※ IPW論 IPW演習 I IPW演習 I	兼担	教授	松房 利恵 (70) (平成31年4月) 修士(人間科学) ヒューマンケア論 ※ IP開館 IP開渡留 I	兼担	教授	松房 利憲 (71) 〈平成31年4月〉 修士(人間科学) ヒューマンケア論 ※ IPH論 IPH演習 I	-					
兼主	旦 教授	伊原 巧 (72) 〈平成31年4月〉 教育学修士	兼担	教授	伊原 巧 (72) 《平成31年4月》 教育学修士	兼担	教授	伊原 巧 (73) 〈平成31年4月〉 教育学修士	兼担	教授	伊原 巧 (74) 《平成31年4月》 教育学修士	兼担	教授	伊原 巧 (75) 〈平成31年4月〉 教育学修士			
兼技	型 教授	版本 生吾 (50) (平成31年4月〉 博士 (障害科学) 情報リテラシー	兼担	教授	熊本 生音 (50) (マ東成31年4月) 博士 (障害科学) 情報リテラシー	兼担	教授	熊本 生吾 (51) (平成31年4月) 博士 (障害科学) 情報リテラシー	兼担	教授	熊本 圭吾 (52) 〈平成31年4月〉 博士 (障害科学) 情報リテラシー						
兼技	旦 教授	大町 かおり (平成31年4月> 博士 (障害科学)  ヒューマンケア論 ※ IPN演習 I	兼担	教授	大町 かおり (49) (平成31年4月> 博士 (障害科学)  ヒューマンケア論 ※ [P附演習 I [P附演習 I	兼担	教授	大町 かおり (51) (平成31年4月> 博士 (障害科学) ヒューマンケア論 ※ IP開演習 I	兼担	教授	大町 かおり (51) 〈平成31年4月〉 博士 (障害科学) IPW演習 I IPW演習 I	兼担	教授	大町 かおり (52) (平成31年4月) 博士 (韓書科学) IPI演習 I IPI演習 I	兼担	教授	大町 かおり (52) 〈平成31年4月〉 博士 (障害科学) IPW演習 I IPW演習 I
兼拄	担 教授	中島 八十一 (68) (令和2年4月) 医学博士 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼担	教授	中島 八十一 (67) (令和2年4月) 医学博士 病態・疾病治療論I ※	兼担	教授	中島 八十一 (68) 〈令和2年4月〉 医学博士 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼担	教授	中島 八十一 (69) 〈令和2年4月〉 医学博士 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼担	教授	中島 八十一 (70) (令和2年4月) 医学博士 病態・疾病治療論 I ※	兼担	教授	中島 八十一 (70) 〈令和2年4月〉 医学博士

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 館) <就任 (予定) 年月> 候有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 龄) <就任 (予定) 年月> 使有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) < 就任 (予定) 年月 > 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 龄) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) < 就任 (予定) 年月 > 保有学位等 担当授業科目名
兼担	教授	福田 惠美子 (74) (令和2年4月) 博士 (障害科学) 人間発速学 ※															
兼担	准教授	宮脇 利幸 (59) (令和3年4月) 博士(保健学) IP附演習 I IP附演習 I	兼担	數接	宮脇 利幸 (57) (今和3年4月> 博士 (保健学)  IP解演習 I IP解演習 I	兼担	教授	宮脇 利幸 (58) (今和3年4月) 博士 (榮健学) IP附演習 I IP所演習 I	兼担	●景	宮脇 利幸 (59) 〈令和3年4月〉 博士 (保健学)  IPI演習 I IPI演習 I	兼担	<b>使</b> 授	宮脇 利幸 (50) (今和3年4月〉 博士 (保健学) ヒューマンケア論 ※ IPM 論	兼担	●景	宮脇 利幸 (60) (令和3年4月) 博士(保健学) (由素料学業論 ※ IPW 論 IPW演習 I
兼担	助教	山本 良彦 (58) (令和3年4月〉 修士(児童学) IPW演習 I IPW演習 I	兼担	20.00	山本 良彦 (56) (令和3年4月〉 修士 (児童学) IPW演習 I IPW演習 I	兼担	動物	山本 良彦 (57) (令和3年4月) 修士(児童学)  IP指演習 I IP和演習 I	兼担	24	山本 良彦 (58) (今和3年4月) 修士 (児童学) IPW演習 I IPW演習 I	兼担	***	IPII演習 II	兼担	RM	IPI演習 I
			兼担	教授	外量 富佐江 (67) (全和2年4月〉 博士 (障害科学) 人間発達学 ※	蒙担	●接	外量 <b>国佐</b> 江 (88) 〈令和2年4月〉 博士 (障容科学) 人間発達学 ※	兼担	<b>0</b> 2	外里 富佐江 (69) 〈中和2年4月〉 博士(辟音科学)	- 兼担	<b>化</b> 费	外風 雷佐江 (70) (令和2年4月> 博士 (障害科學) 人國発達学 ※ [P國語 1 [P國語 1	兼担	<b>0</b> 2	外里 富佐江 (70) (令和2年4月) 博士 (献者科学)
						兼担	教授	福	兼担	<b>0</b> (8)	福谷 保 (61) 〈令和2年4月〉 (十二) (62) (62) (62) (62) (62) (63)	兼担	<b>企</b> 提	「円頭管工 標告 保 (62) (今和2年4月) 博士 (医学)			
									兼担	<b>0</b> (8)	田中 禁司 (67) 〈令和3年4月〉 医学博士	兼担	●提	田中 祭司 (収3年) (収3年) 医学博士 病理・病態生理学 ヒューマンケア論 ※	兼担	<b>0</b> (8)	田中 練司 (68) (令和3年4月) 医学博士 病理・病盤生理学 病理・病盤生理学
											ヒューマンケア論 ※	拳狙	准备提	三井 由春 (64年4月) (令和44月) (令本和44月) (市工 (由季) 代謝栄養華、 ※ 多数額由辛工 ※ 多数額由辛工 ※	兼担	准軟質	
														<b>予報報をデエ ※</b> <b>予算機能学工 ※</b>	兼担	<b>*</b>	参加機能学 (66) (66) (今和4年4月) 医学博士 加齢の科学 病態・疾病治療能で ※
															兼担	教授	伊棚 光二 (87) (全和4年4月) 博士 (医学)
兼任	講師	高瀬 弘樹 (46) (平成31年4月) 博士 (人間科学)	兼任	講師	高瀬 弘樹 (46) 〈平成31年4月〉 博士 (人間科学)	兼任	講師	高瀬 弘樹 (47) (平成31年4月> 博士 (人間科学)	兼任	講師	高瀬 弘樹 (48) 〈平成31年4月〉 博士 (人間科学)	兼任	講師	高瀬 弘樹 (49) 〈平成31年4月〉 博士 (人間科学)	兼任	講師	本京学学部 ※ リハビリテーション開始 ※   高瀬 弘樹 (49) (平成31年4月)   博士 (人間科学)
兼任	講師		兼任	講師	○理学    友田 義行 (39) (39) (平成31年4月)   博士 (文学)			心理学			心理学			心理学			心理学
兼任	講師	アカデミックリテラシー 鈴木 俊太郎 (40) 〈平成31年4月〉 博士 (情報科学)	兼任	講師	アカデミックリテラシー 鈴木 俊太郎 (40) 〈平成31年4月〉 博士 (情報科学)												
兼任	講師	人間関係論 臨床心理学 阿久津 昌三 (64) 〈平成31年4月〉 博士(社会学)	兼任	講師	人間関係論  阿久津 昌三 (64) (7年成31年4月) 博士(社会学)	兼任	講師	阿久津 昌三 (65) 〈平成31年4月〉 博士(社会学)	兼任	講師	阿久津 昌三 (66) 〈平成31年4月〉 博士(社会学) 文化人類学	兼任	講師	阿久津 昌三 (67) 〈平成31年4月〉 博士(社会学)	兼任	講師	阿久津 昌三 (67) 〈平成31年4月〉 博士 (社会学)
兼任	講師	文化人類学  (44)  (平成31年4月)  (年(文学)  (新学 I	兼任	講師	文化人類学	兼任		文化人類学	兼任	講師	社会学  三谷 尚澄 (46) 〈平成31年4月〉 博士 (文学)  哲学 I	兼任	講師	文化人類学  三谷 尚澄 (47) 〈平成31年4月〉 博士 (文学)  哲学 I	兼任	講師	文化人類学
		中华倫理  村上 靖彦 (48) (平成31年4月〉 Docteur en psychopathologie fondamentale et psychanalyse/			生命倫理  村上 靖彦 (48) (平成31年4月) Docteur en psychopathologie			哲学 I 生命倫理  村上 靖彦 (49) (平成31年4月> Docteur en psychopathologie fondamentale et psychanalyse/			生命倫理  村上 靖彦 (50) 〈平成31年4月〉 Docteur en psychopathologie			哲学 I 生命倫理 村上 靖彦 (51) 〈平成31年4月〉 Docteur en psychopathologie			生命倫理  村上 靖彦 (51) 〈平成31年4月〉 Docteur en psychopathologie fondamentale et
兼任	講師	75以 哲学II	兼任	講師	fondamentale et psychanalyse/フランス 哲学Ⅱ	兼任	講師	哲学II	兼任	講師	fondamentale et psychanalyse/フランス 哲学I	兼任	講師	fondamentale et psychanalyse/フランス 哲学Ⅱ	兼任	講師	fondamentale et psychanalyse 752X
兼任	講師	(67) 〈平成31年4月〉 法学士	兼任	講師	(67) 〈平成31年4月〉 法学士 信州学			北村 智佳子			北村 智佳子			北村 智佳子			北村 智佳子
兼任	講師	北村 智佳子 (50) 〈平成31年4月〉 芸術学士	兼任	講師	北村 智佳子 (50) (平成31年4月) 芸術学士	兼任	講師	北村 智佳子 (51) (51) 《平成31年4月》 芸術学士	兼任	講師	北村 智佳子 (52) (平成31年4月) 芸術学士	兼任	講師	北村 智佳子 (53) 〈平成31年4月〉 芸術学士	兼任	講師	北村 智佳子 (53) (平成31年4月) 芸術学士
兼任	講師	字野 個秀 (40) (平成31年4月) 博士 (政策科学) 社会学	兼任	講師	茅野 恒秀 (40) (平成31年4月) 博士 (政策科学) 社会学	兼任	講師	字野 恒秀 (41) (平成31年4月〉 博士 (政策科学) 社会学									

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 龄) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) < 就任 (予定) 年月 > 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 略) (女性 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) < 就任 (予定) 年月 > 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 部) < 就任 (予定) 年月 > 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 便有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	高柳 完刊 (44) (平成31年4月> Master of Arts 7553	兼任	講師	高柳 充利 (44) 《平成31年4月》 Master of Arts アメリカ	兼任	講師	高柳 克利 (45) (平成31年4月> Master of Arts 759h	兼任	講師	高柳 完利 (46) 〈平成31年4月〉 Master of Arts アメリカ						
兼任	講師	関 良徳 (488) (今和2年4月) 博士 (法学)	兼任	講師	関 良徳 (47) (今和2年4月) 博士(法学) 日本国憲法・法学	兼任	講師	関 良徳 (48) (令和2年4月) 博士(法学)	兼任	講師	関 良徳 (49) (令和2年4月) 博士 (法学)	兼任	講師	関 良徳 (50) (令和2年4月) 博士 (法学) 日本国憲法・法学	兼任	講師	関 負徳 (50) (令和2年4月) 博士 (法学) 日本国憲法・法学
兼任	講師	松間 楽 (68) (FR) (68) (FR) (FR) (FR) (FR) (FR) (FR) (FR) (FR	兼任	講師	松岡 楽 (68) 《平成31年4月》 工学博士 自然科学の基礎 ※	兼任	講師	松間 楽 (69) (73) (74) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75	兼任	講師	松岡 楽 (70) (7			1 平断原丛 - 丛子			1 个图表从
兼任	講師	松山 敏彦 (67) 〈平成31年4月〉 理学士 自然科学の基礎 ※	兼任	講師	松山 敏彦 (67) 〈平成31年4月〉 理学士 自然科学の基礎 ※	兼任	講師	松山 敏彦 (68) 〈平成31年4月〉 理学士 自然科学の基礎 ※	兼任	講師	松山 敏彦 (59) 〈平成31年4月〉 理学士 自然科学の基礎 ※	兼任	講師	松山 敏彦 (70) (平成31年4月) 理学士 自然科学の基礎 ※	兼任	講師	松山 敏彦 (70) (平成31年4月) 理学士 自然科学の基礎 ※
兼任	講師	張 勇 (63) 〈平成31年4月〉 博士 (社会学)	兼任	講師	張 勇 (63) 《平成31年4月》 博士 (社会学)	兼任	講師	張 勇 (64) (平成31年4月) 博士 (社会学)						300000			
兼任	講師	橋本 エリサ (65) 〈平成31年4月〉 体育学修士	兼任	講師	横本 エリサ (65) (平成31年4月) 体育学修士	兼任	講師	標本 エリサ (66) (平成31年4月) 体育学修士	兼任	講師	橋本 エリサ (67) (平成31年4月) 体育学修士						
兼任	講師	高橋 比沙子 (40) 〈平成31年4月〉 修士 (韓国文化)	兼任	講師	高橋 比沙子 (40) 〈平成31年4月〉 修士 (韓国文化)	兼任	講師	高橋 比沙子 (41) (平成31年4月) 修士 (韓国文化)	兼任	講師	高橋 比沙子 (42) 〈平成31年4月〉 修士 (韓国文化)	兼任	講師	高橋 比沙子 (43) 〈平成31年4月〉 修士 (韓国文化)	兼任	講師	高橋 比沙子 (43) (平成31年4月) 修士 (韓国文化)
兼任	講師	田遠 養子 (43) 〈平成31年4月〉 修士 (医学)	兼任	講師	田遊 愛子 (43) (平成31年4月) 修士(医学) 体育学	兼任	講師	田遠 愛子 (44) (平成31年4月) 修士 (医学)	兼任	講師	田邊 愛子 (45) (平成31年4月) 修士(医学) 体育学	兼任	講師	田邊 愛子 (46) 〈平成31年4月〉 修士 (医学) 体育学	兼任	講師	田邊 愛子 (46) (平成31年4月) 修士(医学) 体育学
兼任	講師	藤田 育郎 (35) 〈平成31年4月〉 修士(体育学) 体育(実技)	兼任	講師	藤田 育郎 (35) (平成31年4月) 修士 (体育学) 体育 (実技)	兼任	講師	藤田 育郎 (36) 〈平成31年4月〉 修士(体育学) 体育(実技)	兼任	講師	藤田 育郎 (37) (平成31年4月) 修士 (体育学) 体育 (実技)	兼任	講師	藤田 育郎 (37) 〈平成31年4月〉 修士(体育学) 体育(実技)	兼任	講師	藤田 育郎 (38) (平成31年4月〉 修士 (体育学) 体育 (実技)
兼任	講師	池田 干鶴子 (64) (平成31年4月) 専門学校卒  代謝栄養学 ※	兼任	講師	泡田 千鶴子 (64) (平成31年4月) 専門学校卒 代謝栄養学 ※	兼任	講師	池田 干鶴子 (65) (平成31年4月) 専門学校卒 代謝栄養学 ※									
兼任	講師	三井 由香 (51) (平成31年4月〉 博士 (幽学) 代謝栄養学 ※ 形態機能学I 形態機能学I 形	兼任	講師	三井 由香 (51) 《平成31年4月》 博士 (歯学) 代謝栄養学 ※ 形態機能学 I 形態機能学 I ※	兼任	講師	三井 由書 (52) 〈平成31年4月〉 博士 (歯学) 代謝宋妻学 ※ 形態機能学 I 夢裏機能学 I 夢影機能学 I 夢影機能学 I 夢影機能学 I 夢影機能学 I ※	兼任	講師	三井 由香 (53) (平成31年4月) 博士 (萬学) 代謝栄養学 ※ 形態機能学! <b>形態機能学!</b>						
兼任	講師	森泉 哲次 (67) 《平成31年4月》 医学博士 形態機能学皿 ※	兼任	講師	森泉 哲次 (67) 《平成31年4月》 医学博士	兼任		形態機能学皿 ※ 森泉 哲次 (68) (平成31年4月) 医学博士 形態機能学皿 ※	兼任	講師	形態機能学皿 ※ 森泉 智次 (69) (平成31年4月) 医学博士 形態機能学皿 ※	兼任	講師	森泉 哲次 (70) 〈平成31年4月〉 医学博士 彩態機能学皿 ※	兼任	講師	森泉 哲次 (70) 《平成31年4月》 医学博士
兼任	講師	福島 菜奈恵 (46) 〈平成31年4月〉 博士 (医学) 形態機能学皿 ※	兼任	講師	福島 萊奈恵 (46) (平成31年4月) 博士 (医学)  形態機能学皿 ※	兼任	講師	福島 菜奈恵 (47) (平成31年4月) 博士 (医学) 形態機能学皿 ※	兼任	講師	福島 菜奈恵 (48) 〈平成31年4月〉 博士 (医学) 形態機能学皿 ※	兼任	講師	福島 菜奈恵 (49) 〈平成31年4月〉 博士 (医学) 彩態機能学皿 ※	兼任	講師	福島 萊奈恵 (49) 〈平成31年4月〉 博士 (医学)
兼任	講師	北村 義浩 (58) 〈平成31年4月〉 博士 (医学) 病態・疾病治療論 I ※ 微生物・恋染症学	兼任	講師	北村 義浩 (58) (平成31年4月) 博士(医学) 病態·疾病治療論 I ※ 教生物・逐染症学												
兼任	講師	野池 光子 (69) 〈平成31年4月〉 学士 (教養) 基礎者護技術論 I ※	兼任	講師	野池 光子 (70) 〈平成31年4月〉 学士(教養) 基礎看護技術論 I ※	兼任	講師	野池 光子 (71) (平成31年4月) 学士 (教養) 基礎者擬技術論 I ※	兼任	講師	野池 光子 (72) 〈平成31年4月〉 学士(教養) 基礎看護技術論 I ※	兼任	講師	野池 光子 (73) 〈平成31年4月〉 学士 (教養) 基礎看護技術論 I ※			
兼任	講師	柴田 美惠子 (49) (令和2年4月) 専門学校卒 秦理学・服薬管理論 ※	兼任	講師	柴田 美惠子 (48) 〈令和2年4月〉 専門学校卒  薬理学・服薬管理論 ※	兼任	講師	柴田 美恵子 (49) (令和2年4月) 専門学校卒 薬理学・服薬管理論 ※	兼任	講師	柴田 美恵子 (50) 〈令和2年4月〉 専門学校卒 薬理学・服薬管理論 ※	兼任	講師	柴田 美恵子 (51) 〈令和2年4月〉 専門学校卒 薬理学・服薬管理論 ※	兼任	講師	柴田 美惠子 (51) 〈令和2年4月〉 専門学校卒
兼任	講師	若林 雅人 (53) (令和2年4月) 博士 (医学) 薬理学・服薬管理論 ※	兼任	講師	着林 雅人 (52) (令和2年4月) 博士 (医学) 薬理学・服薬管理論 ※	兼任	講師	若林 雅人 (53) (令和2年4月) 博士 (医学) 薬理学・服薬管理論 ※	兼任	講師	著林 雅人 (54) (令和2年4月) 博士(医学) 薬理学・服薬管理論 ※	兼任	講師	着林 雅人 (55) (令和2年4月) 博士 (医学) 薬理学・服薬管理論 ※	兼任	講師	着林 雅人 (55) (令和2年4月) 博士 (医学)
兼任	講師	西村 博行 (71) 〈令和2年4月〉 学士 (医学) 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	西村 博行 (70) (今和2年4月) 学士(医学) 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	西村 博行 (71) 〈令和2年4月〉 学士 (医学) 病態・疾病治療論 1 ※	兼任	講師	西村 博行 (72) 〈令和2年4月〉 学士(医学) 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	西村 博行 (73) 〈令和2年4月〉 学士 (医学) 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	西村 博行 (73) 〈令和2年4月〉 学士(医学) 病態・疾病治療論 I ※

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名。 (年 約) <就任 (予定) 年月> 使有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) (就任 (予定) 年月 > (候有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 館) <就任(予定)年月> 候有字位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 前) (年 前) (就任 (予定) 年月 > 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)  <就任 (予定) 年月> (保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 能) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	金木 利通 (57) (今和2年4月) 博士 (医学) 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	金木 利通 (56) (令和2年4月) 博士 (医学) 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	金木 利通 (57) 〈令和2年4月〉 博士 (医学) 病態・疾病治療論 I ※									
兼任	講師	板倉 慈法 (51) 〈令和2年4月〉 字士 (医学) 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	板倉 慈法 (50) (令和2年4月) 学士(医学) 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	板倉 慈法 (51) (令和2年4月) 学士 (医学) 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	板倉 慈法 (52) (令和2年4月) 学士 (医学) 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	板倉 慈法 (53) 〈令和2年4月〉 学士 (医学) 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	板倉 慈法 (53) 〈令和2年4月〉 学士 (医学)
兼任	講師	派 善久 (57) (今和2年4月) 博士 (医学) 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	浜 善久 (56) (今和2年4月) 博士(医学) 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	派 善久 (57) 〈令和2年4月〉 博士 (医学) 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	派 善久 (58) (令和2年4月) 博士 (医学) 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	派 善久 (59) 〈令和2年4月〉 博士 (医学) 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	浜 善久 (59) (令和2年4月) 博士 (医学) 病勤・疾病治療論皿 ※
兼任	講師	本郷 実 (67) 〈令和2年4月〉 医学博士 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	本郷 実 (66) 〈令和2年4月〉 医学博士 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	本題 実 (67) (今和2年4月) 医学博士 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	本郷 実 (68) (令和2年4月) 医学博士 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	本郷 実 (68) 〈令和2年4月〉 医学博士 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	本郷 実 (69) (令和2年4月) 医学博士 病難・疾病治療論 I ※
兼任	講師	和食 正久 (69) 〈令和2年4月〉 博士 (医学) 病態・疾病治療論Ⅱ	兼任	講師	和食 正久 (68) (令和2年4月) 博士 (医学) 病態・疾病治療論Ⅱ	兼任	講師	和食 正久 (59) 〈令和2年4月〉 博士 (医学) 病態・疾病治療論Ⅱ	兼任	講師	和食 正久 (70) (令和2年4月) 博士 (医学) 病態・疾病治療論Ⅱ	兼任	講師	和食 正久 (71) 〈令和2年4月〉 博士 (医学) 病態・疾病治療論Ⅱ	兼任	講師	和食 正久 (71) (令和2年4月) 博士 (医学) 病勤・疾病治療論 ※
兼任	講師	遊木 正俊 (53) (令和2年4月) 学士 (医学) 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	遊木 正俊 (52) (令和2年4月) 学士 (医学) 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	遊木 正俊 (53) (令和2年4月) 学士 (医学) 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	遊木 正俊 (54) (54) (令和2年4月) 学士 (医学) 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	遊木 正俊 (55) 〈令和2年4月〉 学士 (医学) 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	遊木 正後 (55) (令和2年4月) 学士 (医学) 病 衛・疾病治療論 7 ※
兼任	講師	横山 史朗 (60) (令和2年4月〉 博士 (医学) 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	横山 史朗 (59) (令和2年4月) 博士 (医学) 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	横山 史朗 (60) (令和2年月) 博士 (医学) 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	横山 史朗 (61) 〈命和2年4月〉 博士 (医学) 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	横山 史朗 (62) 〈令和2年4月〉 博士 (医学) 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	模山 史朗 (62) (令和2年4月) 博士 (医学) 病態・疾病治療論車 ※
兼任	講師	小池 健一 (69) (令和2年4月) 医学博士 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	小池 健一 (68) (令和2年4月) 医学博士 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	小池 健─ (69) (令和2年月) 医学博士 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	小泡 健一 (70) 〈令和2年4月〉 医学博士 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	小池 健一 (71) 〈令和2年4月〉 医学博士 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	小池 健一 (71) 〈令和2年4月〉 医学博士 病態・疾病治療験▼ ※
兼任	講師		兼任	講師	斎木 寛 (72) (令和2年4月) 学士(医学) 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	療木 寛 (73) 〈令和2年4月〉 学士 (医学) 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	商木 寛 (75) 〈令和2年4月〉 学士 (医学) 病 <b>誰・疾病治療論Ⅳ</b> ※
兼任	講師	版島 富士雄 (69) (令和2年4月) 医学博士 病態・疾病治療論 ※ ※	兼任	講師	飯島 富士雄 (68) 〈令和2年4月〉 医学博士 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	版島 富士雄 (69) (69) (令和2年4月) 医学博士 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	飯島 富士雄 (70) (70) (令和2年4月) 医学博士 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	飯島 富士雄 (71) (令和2年4月) 医学博士 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	飯島 富士雄 (71) 〈令和2年4月〉 医学博士  病盤・疾病治療験で ※
兼任	講師	決輪 史朗	兼任	講師	浅輪 史朗 (50) 〈令和2年4月〉 学士(医学) 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	浅輪 史朗 (51) (令和2年4月) 学士 (医学) 病態・疾病治療論 II ※	兼任	講師	浅輪 史朗 (52) (令和2年4月) 学士 (医学) 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	浅輪 史朗 (53) (今和2年4月〉 学士 (医学) 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	浅輪 史朗 (53) 〈令和2年4月〉 学士 (医学) 病體・疾病治療論以 ※
兼任	講師	中島 崇樹 (45) (45) (今和2年4月) 博士 (國学) 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	中島 崇樹 (44) (令和2年4月〉 博士 (歯学) 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	中島 崇樹 (45) (45) (令和2年4月> 博士 (亩学)  病態・疾病治療論 1 ※	兼任	講師	中島 崇樹 (46) (46) (令和2年4月) 博士 (歯学) 病態・疾病治療論Ⅱ ※	兼任	講師	中島 崇樹 (47) (令和2年4月) 博士 (歯学) 病態・疾病治療論 I ※	兼任	講師	中島 崇樹 (47) 〈令和2年4月〉 博士 (歯学)  病職・疾病治療験で ※
兼任	講師	外里 高佐江 《令和2年4月》 博士 (障害科学) 人間発達学 ※															
兼任	講師	林 邦彦 (63) (令和2年4月) (保健学博士  後学 保健統計学	兼任	講師	林 邦彦 (62) 〈令和2年4月〉 侯健学博士 疫学 侯健統計学	兼任	講師	林 邦彦 (63) (令和2年4月) 保健学博士 疫学	兼任	講師	林 邦彦 (64) 〈令和2年4月〉 保健学博士						
兼任	講師	越智 康詞 (57) (令和2年4月) (参士(教育学) (健康社会学	兼任	講師	越智 康嗣 (56) (令和2年4月) 修士(教育学) 健康社会学	兼任	講師	越智 康詞 (57) (令和2年4月〉 修士(教育学) 健康社会学	兼任	講師	越智 康詞 (58) (令和2年4月〉 修士(教育学) 健康社会学	兼任	講師	越智 康詞 (59) (令和2年4月) (令和2年4月) (教育学) 健康社会学	兼任	講師	越智 康詞 (59) (令和2年4月) (令年 (教育学) (教育学)
兼任	講師	島崎 謙治 (65) (令和2年4月) 博士 (商学) 保健医療福祉行政論 ※	兼任	講師	島崎 謙治 (64) (令和2年4月) 博士 (商学) 保健医療福祉行政論 ※	兼任	講師	島崎 謙治 (65) (令和2年4月) 博士 (商学) 保健医療福祉行政論 ※	兼任	講師	島崎 謙治 (66) (令和2年4月) 博士 (商学) 保健医療福祉行政論 ※	兼任	講師	島崎 謙治 (67) (令和2年4月) 博士 (商学) 保健医療福祉行政論 ※	兼任	講師	島崎 護治 (67) (令和2年4月> 博士 (商学) 個意料學報酬 ※ 保健医療福祉行政論 ※
兼任	講師	中村 秀- (71) 〈令和2年4月〉 法学士 保健医療福祉行政論 ※	兼任	講師	中村 秀一 (70) (令和2年4月) 法学士 保健医療福祉行政論 ※	兼任	講師	中村 秀一 (71) 〈令和2年4月〉 法学士 保健医療福祉行政論 ※	兼任	講師	中村 秀一 (72) (令和2年4月) 法学士 保健医療福祉行政論 ※	兼任	講師	中村 秀一 (73) (令和2年4月) 法学士 保健医療福祉行政論 ※	兼任	講師	中村 秀- (73) (令和2年4月) 法学士 保健医療福祉行政論 ※
兼任	講師	有森 直子 (59) (令和3年4月) 博士 (看護学) 遊伝看護学 ※	兼任	講師	有森 直子 (58) (令和3年4月〉 排士 (看提学) 遺伝看提学 ※	兼任	講師	有森 直子 (59) 〈令和3年4月〉 博士 (看護学) 遺伝者護学 ※	兼任	講師	有森 直子 (60) 〈令和3年4月〉 博士 (看護学) 遺伝看護学 ※	兼任	講師	有森 直子 (61) 〈令和3年4月〉 博士(看接学) 遺伝者護学 ※	兼任	講師	有森 直子 (61) 〈令和3年4月〉 博士 (看護学) 遺伝学の基礎 ※

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 龄) <就任(予定)年月> 使有字位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 餘) <就任 (予定) 年月 > 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 名) ((年 名) (本) (年(予定)年月> (年有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 龄)  <就任 (予定) 年月 > 保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) (本 (年 ) (本 ) (本 (千) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 節) (就任 (予定) 年月> 保有学位等  担当授業科目名
兼任	講師	担当技条行日右 道本 恭子 (57) (令和3年4月) 博士 (保健医療学)	兼任	講師	担当技条付日名 道木 恭子 (55) (令和3年4月) 博士 (保健医療学)	兼任	講師	担当奴条件日名 道本 恭子 (56) 〈令和3年4月〉 博士 (保健医療学)	兼任	講師	担当枚条件目名 道本 恭子 (57) (令和3年4月) 博士 (保健医療学)	兼任	講師	担当改集付目名 道本 恭子 (58) (令和3年4月) 博士 (保健医療学)	兼任	講師	担当技条付日名 道本 恭子 (58) (令和3年4月) 博士 (保健医療学)
兼任	講師	麻原 きよみ (61) (40) (40) (40) (40) (40) (40) (40) (40	兼任	講師	麻原 きよみ (60) (令和2年4月) 博士 (保健学) 地域・在宅看護学 I ※ 在宅看護論概論	兼任	講師	麻原 きよみ (61) (令和2年月) (本年7度学) 地域・在宅有度学) ※ 在宅有度学) ※	兼任	講師	麻原 きよみ (62) (令和2年4月) 博士 (保健学) 在宅看護論概論	兼任	講師	麻原 きよみ (63) 〈令和2年4月〉 博士 (保健学) 在宅看護論概論	兼任	講師	麻原 きよみ (63) (令和2年4月) 博士 (保健学)
		在宅看護論概論	蒙任	20.00	在宅看護論概論  福田 京典子 (73) 《令和2年4月》 博士 (韓曹製學)	蒙任	動物	在宅看護論環論  - 福田	兼任	素質	在七名技術成績 福田 重美子 (75) 〈令和2年4月〉 徳士(辞書料学)	兼任	動物	在七名政議の議 福田 重美子 (76) (令和2年4月) 領士 (摩書料学)			地本·住也有數子 1 米
			兼任	20.00	人間弗達学 ※ 羽田 行男 (64) 〈中和元年10月〉 教育学等士	兼任	動物	人間旁達学 ※ 羽田 行男 (85) 〈令和元年10月〉 教育学修士	兼任	200	人間弗達学 ※ 羽田 行男 (68) 〈令和元年10月〉 教育学修士	兼任	ut in	人間角遊学 ※ 羽田 行男 (87) 〈令和元年10月〉 教育学修士	兼任	200	羽田 行男 (87) 〈全和元年10月〉 教育学修士
					臨床心理学	兼任	計画	人間関係論 総体心理学 参山 後一年 (35) 〈令和2年4月〉 特士 (劉文学)	兼任	200	人間開係論 國家心理学 参山 後一郎 (38) (全和2年4月) 博士 (國文学)	兼任	10 mm	人間関係論 職床心理学 参山 後一郎 (37) (全和2年4月) 传士 (國文学)	兼任	200	人間関係論 略宗心理学 参山 後一郎 (37) 〈令和2年4月〉 博士 (国文学)
								アカデミックリテラシー MX アントゴ ^ 364 ミランタ* (28) 〈令和2年4月〉 参士(工学)	_		アカデミックリテラシー			アカデミックリテラシー			大学基礎セミナー耳(開催) ※
						兼任	教師	スペイン語 米 増調 雄 (53) 〈令和2年4月〉 様士 (医学)			機調 雄 (54) 〈令和2年4月〉 博士 (医学)			機調 雄 (55) <會和2年4月> 報士(医学)			増削 油 (55) 〈會和2年4月〉 博士 (医学)
						兼任	動物	微生物・感染症学 ※ 水内 査 (50)	兼任	は	博士 (医学) 微生物・感染症学 ※ 水内 豊 (59) 〈令和2年4月〉 専門学校卒	兼任	動物	微生物・感染症学 ※ 水内 豊	兼任	and the second	微生物・感染症学 ※ 水内 豊
						兼任	動物	《令和2年4月》 等門学校卒 徽生物・磁染症学 ※ 富敬 選生 (70)	兼任		保生物・感染症学 ※ 高松 選生	兼任	計師	《令和2年4月》 専門学校李 微生物・感染症学 ※ 高級 選生 (72)	兼任	素師	《令和2年4月》 等門学校李 蒙生物·蘇操在学 ※ 高校 選生 (72)
						兼任	動物	《令和2年4月》 医学士 病態·疾病治療論 I ※ 病態·疾病治療論 I ※	兼任	素質	《令和2年4月》 医学士 病態・疾病治療論 I ※ 病態・疾病治療論 I ※	兼任	飲飯	《令和2年4月》 医学士 病態·疾病治療論 I ※ 病態·疾病治療論 I ※	兼任	20.00	《令和2年4月》 医学士 病籍·疾病治療論Ⅱ ※ 病籍·疾病治療論Ⅲ ※ 病籍·疾病治療論Ⅱ ※
						兼任	<b>18</b> 10	井平野 由華 (46) 〈令和2年4月〉 博士 (景観学)  保健軟計学 ※	兼任	<b>R</b> #	并平野 由華 (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47)	兼任	10t log	井手野 由華 (48) (48) (48) (4年4月) (4年4月) (4年4月) (4年4年4月) (4年4年4月)	兼任	R#	井手勝 由拳 (48) (全和2年4月) 博士 (景報学) 保備統計学 I 保備統計学 I
						兼任	<b>18</b> 10	田舞 直人 (61) 《令和2年9月》 文学士	兼任		田澤 直人 (62) (令和2年4月) 文学士	兼任	10.10	田澤 宣人 (63) (今和2年4月) 文学士	兼任		田澤 重人 (63) (令和2年4月) 文学士
									兼任	ut in	雅 旅車 (金名) (全和3年4月) (金十 (衛育学)	兼任	<b>18.19</b>	整 被牵 (207) (全和3年4月) 修士(衛育学) 中國腦	兼任	ut ar	要 撤率 (67) 〈令和3年4月〉 修士(敎育学) 中國廳
									兼任	at in	旅辺 登美子 (63) (今和3年4月〉 振翔大学卒 代類栄養学 ※	兼任	100 100	旅辺 登典子 (会別 (令別3年4月) (権別大学卒 代謝栄養学 ※	兼任	nt for	施辺 登美子 (84) (令和3年4月) 無期大学卒 代謝栄養学 ※
									兼任	素質	神田 慎太郎 (46) (今和3年4月) 博士 (医学) 病職・疾病治療験1 ※	兼任	18:55	神田 (放太郎 (47) (金和3年4月) 神士 (医学) 病難 - 疾病治療験1 ※	兼任	nt se	神田 領太郎 (47) (全和3年4月) 博士 (医学) 病態・疾病治療施工 ※ 病態・疾病治療施▼ ※
									兼任	100 day	平林 優子 (60) (令和3年4月) 博士(常體学) 小児者闘学方法論						
												兼任	18.09	鐵券 差介 (52) (今和4年4月〉 博士(社会学)	兼任	nt se	董券 差介 (52) (令和4年4月) 博士 (社会学) 社会学
												禁任	n n	小山 茂書 (63) (金和4年4月〉 修士 (敬育学)	兼任	IR AV	小山 茂書 (83) (今和4年4月〉 修士 (教育学)
												兼任	20.00	マナペ・・パーウ・ニア (48) (中和4年4月〉 学士(システムエング・ニアリング・) ベルー	兼任	18.00	マナハ*・ハ*ーウ*ニ7 (48) (全和4年4月) 学士 (システムコンサ*ニフリンサ*) ペルー
														スペイン語			スペイン語

専任・ 兼担・ 兼任 の別 職名	铭	氏 名 (年 前) (就任 (予定) 年月> (有 学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡)  <就任 (予定) 年月> 保有学位等  担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月 > 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) (年 齢) (就任 (予定) 年月> 保有学位等  担当授業科目名
												蒙任	鉄師	丸井 英二 (74) 〈令和4年4月〉 保備学修士	兼任	1866	丸井 英二 (74) (令和4年4月) 保恤学博士
														疲学			疲学
												兼任	鉄師	松岡 勝晶 (35) (令和4年4月) 博士 (數理學)	兼任	- 大学	松岡 雅晶 (35) 〈令和4年4月〉 博士 (敷理学)
														情報リテラシー 自然科学の基礎 ※			大学基礎セミナー軍 (情報) 自然科学の基礎 ※
															兼任		八木 線 (33) (令和4年4月) 博士 (哲学)
																	倫理学
															養任	-	中野 館 (47) 〈合和4年4月〉 博士 (選挙)
																	ヒトと自然の共生
															兼任	<b>R</b> F	高山 滑茂 (73) 〈令和4年4月〉 医学博士
																	<b>形態機能学</b> 耳 ※
															兼任		古庄 知己 (63) 〈令和4年4月〉 博士 (医学)
																	遺伝学の基礎 ※

<sup>(</sup>注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してださい。(選年度)このいては、各年度末時点の情報として記入してださい。) 認可申請書文は設理屋出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 認可申文は届出時」には 設置認可申文以電出時のお書金で、承任、果想を書を含む。) を黒字で記入してください。
・ 記の中文は広田時か」には 設置認可申文以も**活情**が正文の事**学としてください。**・ 各個の作成方法は 「大学の設置等に係る提出書材で成の手刊き」の「教養(多簿) を確認してください。
・ 年間に 大大学の大田 (年の2月1日 日本) の要素を記入してください。
・ 事任 (事門歌大学等は事、実事、実 (等)、実み)、業組、兼任の際に記入してください。
・ 不要な年度 (令和2年度開設であれば今和5年度) の表は適宜解除し、混めてください。

#### 【令和元年度】

- ・井部教授は付帯事項(遵守事項)により「看護教育論」を追加。平成30年12月AC教員審査済。
   ・田中教授は付帯事項(遵守事項)により「保健ボランティア」を追加。平成30年12月AC教員審査済。
   ・宮越准教授は付帯事項(遵守事項)により「保健ボランティア」を追加。平成30年12月AC教員審査済。
- 兼担の宮脇准教授が、令和元年度に教授に変更。 兼担の山本助教が、令和元年度に講師に変更。

- ・ 派注の四本的教が、市社が上版に時間に多文。 ・「人間秀達学」は兼担の福田教授退職後も引き続き兼任講師として担当。 ・「人間発達学」は兼任の外里講師が引き続き兼担教授として担当。平成30年2月AC教員審査済。 ・兼任の鈴木講師が前期で辞任したことにより、後期の「臨床心理学」を兼任の羽田講師に変更。

#### 【令和2年度】

- 【予和12 年度】
   三橋助教辞任。後任は、R2年6月に松石助教(R2年5月教員審査済)就任。「形態機能学Ⅱ」は、兼担の福谷教授と兼任の三井講師との共同に変更。
   小林助教就任辞退により、後任にヒー助教がR3年4月に就任(R2年8月教員審査済)。
   兼任の友田講師辞任により、「アカデミックリテラシー」を兼任の杉山講師に変更。
   兼任の鈴木講師辞任により、「入間関係論」を兼任の羽田講師に変更。
   兼任の鈴木講師の本務の都合により、「スペイン語」を兼任の羽田講師に変更。
   兼任の北村講師の辞任により、「病態疾病治療論Ⅱ」を兼任の高松講師に変更。
   東任の北村講師の辞任により、「病態疾病治療論Ⅱ」を兼任の高松講師に変更。
   また、「微生物・感染症学」を兼担の金物教授、兼任の増渕講師及び水内講師のオムニバス方式に変更。
   兼任の林講師の本務の都合により、「保健統計学」を兼任の井手野講師とのオムニバス方式に変更。
   兼任の和田講師辞任により、「信州学」を兼任の田澤講師に変更。

#### 【令和3年度】

- 兼任の麻原講師「地域・在宅看護学Ⅱ」辞退により、後任は、専任の川崎教授(R3年5月教員審査済)。

- ・兼任の麻原講師「地域・在宅看護学Ⅱ」辞退により、後任は、専任の川崎教授(R3年5月教員審査済)。
  ・ 樋貝教授の辞任により、後任としてR3年9月に内田准教授(R3年8月教員審査済)が就任。
  ・ 小林助教の就任辞退により、後任としてR3年4月にHII助教(R2年8月教員審査済)が就任。
  ・ 小林助教の就任辞退により、後任としてR3年4月にHII助教(R2年8月教員審査済)が就任。
  R3.12月に溝口助教を新規採用(R3年11月教員審査済)。「大学基礎セミナー」、「老年種護学概論」、「老年護技術実習」、「看護展開論実習」、「老年看護学実習Ⅰ」、「老年看護学実習Ⅰ」、「統合実習」、「新合実習」、「1PW演習・兼担の金物教授本務の都合により「病理・病態生理学」「微生物・感染症学」「ヒューマンケア論」を辞退。「病理・病態生理学」を兼担の田中教授に変更。「微生物・感染症学」を兼任の増渕講師と水内講師に変更。・兼日の大町教授の本務の都合により、「ヒューマンケア論」の後任として兼担の岩谷教授、田中教授に変更。・兼任の茅野講師辞任により、「社会学」を兼任の阿久津講師に変更。・兼任の多ンダ講師辞任により、「社会学」を兼任の阿久津講師に変更。・兼任の表清講師学社に変更。・兼任の表清講師学社により、「中国語」を兼任の張本講師単独に変更。・兼任の表講師辞任により、「中国語」を兼任の張淑華講師に変更。・兼任の池田講師辞任により、「中国語」を兼任の張淑華講師に変更。・兼任の池田講師辞任により、「代謝栄養学」を兼任のアル田講師に変更。・兼任の金木講師辞任により、「代謝栄養学」を兼任のアル田講師に変更。・兼任の金木講師辞任により、「代謝栄養学」を兼任の平本講師に変更。・東任の金木講師辞により、「内閣・疾病治療論 I」を兼任の平本講師に変更。 が就仕。 「老年看護学概論」、「老年看護学方法論」、「ND IA A 「結今実習」、「IPW演習I」、「IPW演習I」を担当。 「統合演習」、「看護課題探求」、「基礎看

#### 【令和4年度】

- 旧カリ
- 、 旧カリ ≫ 風間助教辞任により、後任としてR4年4月に箕口助教 (R3年11月教員審査済)が就任。 兼担の松房教授辞任により、「ヒューマンケア論」と「IPW論」を兼担の宮脇教授に変更し、「IPW演習Ⅰ」と「IPW演習Ⅱ」を兼担の外里教授に変更。 兼担の熊本講師辞任により、「情報リテラシー」を兼任の松岡謙晶講師に変更。 教員の採用により、兼任の三井講師を兼担に変更。

- ・教員の採用により、衆任の二井講師を来担に変更。 ・兼任の阿久津講師辞任により、「社会学」を兼任の能勢講師に変更。 ・兼任の高柳講師辞任により、「教育学」を兼任の小山講師に変更。 ・兼任の松岡楽講師辞任により、「自然科学の基礎」を兼任の公岡謙晶講師に変更。 ・兼任の橋本講師辞任により、「スペイン語」を兼任のマイベ講師に変更。 ・兼任の橋本講師辞任により、「保健統計学」を兼任のサイベ講師に変更し、「疫学」を兼任の丸井講師に変更。
- 新カリ ≫指定規則の改正に伴う教育課程の変更
- ・専任教員
  ①「大学基礎セミナ - I 」、「健康科学概論」、「看護提供システム論」、「看護の専門と発展」、「看護課題探求 I 」、「看護課題探求 II 」を井部教授の担当に追加・変 ①「大子基礎セミテーI」 [(R4年2月教員審査済)。 ②「大学基礎セミナーI」 更
- 年2月羽貝番食済)。 大学基礎セミナーI」、「大学基礎セミナーⅡ(国語)」、「健康科学概論」、「母性看護学方法論」、「看護の専門と発展」、「看護課題探求I」、「看護課題探求 「統合実習I(管理実習)」、「統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)」を坂口教授の担当に追加・変更(R4年2月教員審査済)。 大学基礎セミナーI」、「病態・疾病治療論Ⅰ」、「病態・疾病治療論Ⅲ」、「病態・疾病治療論Ⅴ」、「健康科学概論」、「成人看護学概論」、「成人看護学方法論 「成人看護学方法論I」、「看護の専門と発展」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「成人看護学実習」、「統合実習Ⅰ(管理実習)」、「統合実習Ⅱ(地 ケアマアツ、」ませ対機の日間に学知、亦事(24年2月表演表示法) Ⅱ」、「統合実省 』( ③「大学基礎セミナ 「☆」看護学方
- ③ 「ハナ幸嘘にとう一」」、「病感・疾病点疾血」、「病感・疾病点疾血」、「病感・疾病点疾血」、「成人者護学方法論 II」、「成人者護学方法論 II」、「成人者護学方法論 II」、「有護課題探求 I」、「看護課題探求 I」、「成人看護学者」、「統合実習 I(管理実習)」、「統合実習 I( 域包括ケア実習)」を林教授の担当に追加・変更(R4年2月教員審査済)。 ④「保健医療福祉行政論」、「地域・在宅看護学 I」、「看護課題探求 I」、「看護課題探求 I」、「統合実習 I(地域包括ケア実習)」、「公衆衛生看護学概論」、「公衆衛生看護学活動論」、「公衆衛生看護学主法論 I」、「公衆衛生看護学実習 I」、「公衆衛生看護学実習 I」、「公衆衛生看護学実習 I」、「公衆衛生看護学実習 I」、「公衆衛生看護学実習 I」を川崎教授の担当に追加・変更(R4年2月教員審査済)。

- 「看護

- 「老年看護学方法論」 「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「老年看護学実習」、「統合実習Ⅰ(管理実習)」、「統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)」を桑原講 師の担当に追加・変更 (R4年2月教員審査済)

```
①「地域・在宅看護学Ⅰ」、「地域・在宅看護学Ⅱ」、「地域・在宅看護学方法論」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「エンドオプライフ・ケア」、「在宅生
長支援実習」、「統合実習Ⅰ(管理実習)」、「統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)」を横関講師の担当に追加・変更(R4年2月教員審査済)。
④「再性看護学方法論」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「統合実習Ⅰ(管理実習)」、「統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)」を奥原講師の担当に追加・変更
(R4年2月教員審査済)。
(③「大学基礎セミナー耳(国語)」、「基礎看護技術論 I」、「基礎看護技術論 I」、「看護課題探求 I」、「早期体験実習」、「基礎看護学実習 I」、「基礎看護学実習 I」、「基礎看護学実習 I」、「基礎看護学実習 I」、「基礎看護学実習 I」、「基礎看護学実習 I」、「基礎看護学実習 I」、「基礎看護学実習 I」、「基礎看護学実習 I(管理実習)」、「統合実習 I(地域包括ケア実習)」を宮澤助教の担当に追加・変更(R4年2月教員審査済)。
(④「大学基礎セミナー耳(国語)」、「成人看護学方法論 I」、「成人看護学方法論 I」、「看護提與次 I」、「看護提與 I、「看護學実習」、「統合実習 I(管理実習)」、「統合実習 I(地域包括ケア実習)」をミルズ助教の担当に追加・変更(R4年2月教員審査済)。
(④「基礎看護学実習」、「統合実習 I(地域包括ケア実習)」をミルズ助教の担当に追加・変更(R4年2月教員審査済)。
(⑥「大学基礎をミナー I」、「基礎看護学表別」、「看護課題探求 I」、「看護課題探求 I」、「基礎看護学実習 I」、「基礎看護学実習 I」、「統合実習 I(地域包括ケア実習)」を「大学基礎をミナー I」、「健康科学概論」、「保健医療福祉行政論」、「地域・在宅看護学 I」、「看護課題探求 I」、「看護課題探求 I」、「看護課題探求 I」、「企業衛生看護学表演 I)、「公衆衛生看護学表述 I)、「公衆衛生看護学実習 I」を収め教の担当に追加・変更(R4年2月教員審査済)。
(④「大学基礎セミナー I(国語)」、「看護課題探求 I」、「看護課題探求 I」、「統合実習 I(地域包括ケア実習)」を羽田助教の担当に
   (R4年2月教員審査済)。

⑤「大学基礎セミナーII (国語)」、
                                                                 - I (国語) 」、「看護課題探求 I 」、「看護課題探求 I 」、「統合実習 I (管理実習)」、「統合実習 I (地域包括ケア実習)」を羽田助教の担当に
      ② 「大学基礎セミナ
  追加・変更 (R4年2月教員審査済)
  追加・変更(R4年2月教員審査済)。
②「大学基礎セミナーⅡ(国語)」、「形態機能学Ⅱ」、「基礎看護技術論Ⅱ」、「基礎看護技術論Ⅱ」、「看護課題探求Ⅱ」、「看護課題探求Ⅱ」、「早期体験実習」、「「基礎看護学実習Ⅱ、「基礎看護学実習Ⅱ(地域包括ケア実習)」を松石助教の担当に追加・変更(R4年2月教員審査済)
②「大学基礎セミナーⅡ(国語)」、「母性看護学方法論」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「統合実習Ⅰ(管理実習)」、「統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)」を松II助教の担当に追加・変更(R4年2月教員審査済)。
③「大学基礎セミナーⅡ(国語)」、「母性看護学方法論」、「看護課題探求Ⅱ」、「看護課題探求Ⅱ」、「統合実習Ⅰ(管理実習)」、「統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)」を打I助教の担当に追加・変更(R4年2月教員審査済)。
③「大学基礎セミナーⅡ、「大学基礎セミナーⅡ(国語)」、「老年看護学概論」、「老年看護学方法論」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「看を書選型であるといる。
③「大学基礎セミナーⅡ(管理実習)」、「統合実習Ⅰ(地域包括ケア実習)」を満口助教の担当に追加・変更(R4年2月教員審査済)。
④風間助教辞任により、令和4年4月に箕口助教(R3年11月教員審査済)が就任。「大学基礎セミナーⅡ(国語)」、「小児看護学方法論」、「統合実習Ⅰ(管理実習)」、「統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)」を箕口助教の担当に追加・変更(R4年2月教員審査済)。
      ルル・冬史(R4平2月教員番館済)。
②「大学基礎セミナーⅡ(国語)」、
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「老年看護学実
      兼担教員
① 伊原教授の担当科目「異文化理解」は科目廃止。
② 治谷教授の担当科目「異文化理解」は科目廃止。
② 治谷教授の担当科目を「総合医療論」、「ヒューマンケア論」から「健康科学概論」に変更。
③ 宮腐教授の担当科目を「ヒューマンケア論」を「健康科学概論」に変更。
④ 外里教授の担当科目を「人間発達学」から「リハビリテーション概論」に変更。
⑤ 福谷教授が本務の都合により辞任し、兼任の高山講師が就任。
⑥ 田中教授の担当科目を「ヒューマンケア論」から「病態・疾病治療論V」に変更。
⑦ 踵口教授を「病態・疾病治療論V」及び追加科目の「加齢の科学」の担当。
⑧ 伊橋教授を「健康科学概論」及び「リハビリテーション概論」の担当。
⑨ 三井准教授の担当科目を、「代謝栄養学」、「形態機能学 I」に変更。
      がによる。
①三谷講師の担当科目「哲学Ⅰ」は科目廃止。
②村上講師の担当科目「哲学Ⅱ」を「哲学」に名称変更。
③森泉講師と福島講師の担当科目名を「形態機能学Ⅲ」から「形態機能学Ⅱ」に変更。
   ②村上議師の担当科目「哲学 I」を「哲学」に名称変更。
③素泉講師と福馬講師の担当科目名を「東理学・服薬管理論」から「影態機能学 II」に変更。
④野池講師が本務の都合により辞任。
⑤楽田講師と若林講師の担当科目名を「東理学・服薬管理論」から「薬理学」に変更。
⑥板倉講師の担当科目名を「病態・疾病治療論 I」から「病態・疾病治療論 II」に変更。
⑦返流講師の担当科目名を「病態・疾病治療論 I」から「病態・疾病治療論 II」に変更。
②遺山講師の担当科目名を「病態・疾病治療論 I」から「病態・疾病治療論 II」に変更。
②横山講師の担当科目名を「病態・疾病治療論 I」から「病態・疾病治療論 II」に変更。
①順か講師の担当科目名を「病態・疾病治療論 I」から「病態・疾病治療論 II」に変更。
②液の高講師の担当科目名を「病態・疾病治療論 I」から「病態・疾病治療論 II」に変更。
②液の高講師の担当科目名を「病態・疾病治療論 I」から「病態・疾病治療論 II」に変更。
③液は講師の担当科目名を「病態・疾病治療論 I」から「病態・疾病治療論 II」に変更。
⑥連の講師の担当科目名を「病態・疾病治療論 I」から「病態・疾病治療論 II」に変更。
⑥連の講師の担当科目名を「病態・疾病治療論 I」から「病態・疾病治療論 II」に変更。
⑥過病講師の担当科目に「健康科学概論」を追加。
①「有森講師の担当科目に「健康科学概論」を追加。
①「有森講師の担当科目名を「健康社会学」から「健康学概論」に変更。
②海田講師の担当科目名を「アカデミックリテラシー」から「大学基礎セミナーII (国語)」に変更。
②海田講師の担当科目名を「アカデミックリテラシー」から「大学基礎セミナーII (国語)」に変更。
②海田講師の担当科目名を「アカデミックリテラシー」がら「大学基礎セミナーII (国語)」に変更。
②治出講師の担当科目名を「アカデミックリテラシー」、「病態・疾病治療論 I」、「病態・疾病治療論 I」、「病態・疾病治療論 I」、「病態・疾病治療論 I」、「病態・疾病治療論 I」に変更。
②治知講師の担当科目名を「情報・アラシー」から「大学基礎セミナーII (情報)」に変更。
③治知科目の「日とと自然の共生」に中野講師が就任。
② 「影態機能学II」に画講師が就任。
② 「影態機学 II」に由講師が就任。
② 「影態機学 II に由講師が就任。
      ②「遺伝学の基礎」に古庄講師が就任。
```

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **窓可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、

大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。<u>AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。</u>

- 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。 ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は削除せず、斜線を入れてください。

### (2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

#### (2) -2 専任教員等数【大学】

		設置時	の計画			現在(報告時)の状況							
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')		
7	3	4	9	23	5	6	4	4	10	24	8		
(5)	(2)	( 1 )	( 3 )	( 11 )	(1)								
	現在(	報告時)の	完成年度時	の状況		現在(報告時)の完成年度時の計画							
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')		
6	4	4	10	24	8	6	4	4	10	24	8		
[ △1 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[1]	[3]	[△1]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[1]	[3]		

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、 数員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、 「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入</u>するとともに、
  - [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
  - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
    - [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

#### (2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	4	4
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
  - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率



(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

#### (3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の	担当予定科	目	後任	補充状	況	京	<b>t任辞</b> 追	艮(未	就任)の理	就任辞退(未就任)の理由						
				必修	母性看護学方	法論		1												
1	助教	小林 明日香	R2. 2	必修	母性看護学乳	智		1		R2.2一身上の都合のため就任辞退(2)										
				必修	統合実習			1												
		合計	(D)						後	6任補充状況	の集計	(E)								
Ę	就任を辞	退した教員数	担当科目	目数の合計	(a) + (b) + (c)		①の合計	数(a)	)	②の合計	上数 (b)	)	③の合	)合計数 (c)						
			必	修	3 科目	Į.	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	Τ	0	科目				
			選	択	0 科目	;	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	- 1	0	科目				
	1	人	自	由	0 科目		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	Ξ	0	科目				
			Ī	it	3 科目		計	3	科目	計	0	科目	計	Ī	0	科目				

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
  - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
  - 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
  - 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
  - ・専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
  - (3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職位	専任教	員氏名	時期	必修・選択・自由の	91 担	当予定科目	予定科目 後任補充状況 辞代							の理由			
				Ì	必修	形	態機能学I	[		1								
					必修	基礎	看護技術論	ПÉ		1								
					必修		統合演習			1								
					必修	看	護課題探オ	रे		1								
1	助教	三橋	陽平	R2. 3	必修	基礎	看護技術実	€習		1		R2. 3. 31付	けー身	上の	都合のため	辞任	(2	)
					必修	看記	隻展開論実	習		1								
					必修	成人	.看護学実習	I		1								
					必修		統合実習			1								
					必修	ヒュー	マンケア体験	実習		1								
					必修	小児:	看護学方法	論		1								
					必修	統合	演習			1								
					必修	看護	課題探求			1								
					必修	基礎	看護技術実	習		1								
2	助教	風間	邦子	R2. 12	必修	看護.	展開論実習			1		R2. 12. 31付	けー身	上の者	都合のため	锌任	(3)	
					必修	小児:	看護学実習			1								
					必修	統合	実習			1								
					必修	IPW演	智 I			1								
					必修	IPW演	習Ⅱ			1								
					必修	大学	基礎セミナ	-		1								
					必修	病態	<ul><li>疾病治療訓</li></ul>	<b>計</b> II		1								
					必修	小児:	看護学概論			1								
					必修	小児:	看護学方法	論		1								
					必修	統合	演習			1								
					必修	看護	課題探求			1								
3	教授	樋貝	繁香	R3. 3	必修	_	看護技術実			1		R3. 3. 31付	けー身	上の	都合のため	辞任	(3	)
					必修		展開論実習	_		1								
					必修	_	看護学実習			1								
					必修	統合	実習			1								
					必修		マンケア体験	実習		1								
					必修	IPW渲				1								
				<u> </u>	必修	IPW渲	習Ⅱ			1								
				† (F)								<b>经任補充状況</b>						
	辞任し	た教員数	Ţ.	担当科目	数の合計	(a) +	(b) + (c)	10	の合計	数 (a)		②の合計	数 (b)		③の合	計数	(c)	
				必	修	31	科目	必	修	31	科目		0	科目	必修		0	科目
	0			選	択	0	科目	選	択	0	科目	22.1/	0	科目	選択		0	科目
	3		人	自	由	0	科目	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	:	0	科目
				i	†	31	科目	10.	t .	31	科目	計	0	科目	計		0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、<mark>赤字</mark>にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
  - (3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

		後任補充状況の集計 (E) + (G)													
	辞任等した教員	췣	担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数(a)	②の合計	③の合計数 (c)						
			必修	34	科目	必修	34	科目	必修	0	科目	必修	$\overline{\cdot}$	0	科目
	4		選択	0	科目	選択	選択 0 科目 選択 0		科目	選択	Ŧ	0	科目		
		,	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	Ι	0	科目
			計	34	科目	計	34	科目	計	0	科目	計	-	0	科目

### (3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F) (2)-②設置時の計画(A)	=	= 23	17.39	%
----------------------------------	---	------	-------	---

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (3)一⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況



(注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

#### (3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 -	番 号 職 位 専任教員氏名 👂 🕸 🛱 ・ 選択・自由の別 担当予定科目				7定科目	後任補充	状況			辞信	壬等の	理由				
				該当なし												
										1						
										4						
-	4		+							-						
-	+		+							-						
			_							<u> </u>	**	h v= - 4	<u> </u>			
				É	計						後任補充物	大況の第	表計			
		辞任	し	た教員数	担当科目数の合計	† (a) +	(b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計					数(	c)		
					必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
					選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		0		, ,	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・  $rac{c}{c}$  定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退の助教に係る担当科目については、開講学年に達していないため支障はない。後任については令和2年5月にAC教員審査書を提出

神任した助教に係る担当科目については、共同の科目が大半であるため大きな支障はないと考える。後任の補充に努める。 (3) 辞任した教授の担当科目である「小児看護学方法論」は、当面、兼担の教員により対応している。後任については、既にAC教員審査中である。他の科目は共同及びオムニバス方式であるため、学生への影響は最小限と考える。学生に対しては、教員審査修了後ホームページ上の教員一覧に掲載するとともに、適宜教員紹介し周知する。 (3)

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

# 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
認 可 時 (平成30年)	「保健では、 保健では、 保健では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でで、 でで	遵守事項	「保健では、 保健では、 保健では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	履行済	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (平成元年)	該当なし			履行済	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (平成2年)	該当なし			履行済	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (平成3年)				履行済	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年)					
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年)					

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u>全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

### 7 その他全般的事項

#### 〈看護学部 看護学科〉

#### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 卒業要件単位数	① 保健師助産師看護師学校養成所指定規則の変更に伴う
124単位 必修科目112単位、選択科目12単位	教育課程の変更により、127単位 必修113単位、
	選択14単位とした。(別添1「新旧対象表」参照)
② 保健師課程:卒業要件単位と合わせて139単位以上	② 保健師課程:卒業要件単位と合わせて143単位以上

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)

#### ① 実施体制

a 委員会の設置状況

長野保健医療大学ファカルティ・ディベロップメント(FD)・スタッフ・ディベロップメント(SD)委員会規程 (趣旨)

第1条 この規程は、長野保健医療大学学則第46条及び長野保健医療大学大学院学則第51条に基づき「ファカル ティ・ディベロップメント・スタッフ・ディベロップメント(以下「FD・SD」という。)委員会」(以下「委員会」 という。)に関して必要な事項について定める。

2 委員会は、教員の教育活動の向上・能力開発及び職員を含めた全教職員の資質向上に関して恒常的に検討を行 い、その質的充実を図ることに関する重要事項について審議し推進する。

(組織)

第2条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長が指名する教員若干名
- 事務局から選出された者 (2)
- 2 委員会に委員長を置き、学長が指名する者をもって充てる。
- 3 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代理す

(委員の任期)

第3条 第2条第1項の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とす る。

(審議事項)

第4条 委員会は、次に掲げる事項を審議し、教職員の質的充実を図る。

- 新任教職員のための研修 (1)
- 新任教職員以外の教職員のための研修、教育方法及び管理運営改善のための講演会
- (3)
- 教員相互の授業参観、授業評価 学生による授業評価アンケート調査と結果の報告 (4)

(活動結果の公表)

第5条 委員会は、活動結果について隔年で報告書を作成して学長に提出するものとする。

2 前項で取りまとめた報告書は、学長が意見を付し、委員会の議を経たのちこれを公表するものとする。 (会議)

第6条 委員会は必要に応じ委員長が招集し、その議長となる。委員長に事故があるときは、学長が指名した委員 が、その職務を代理する。

(作業部会)

第7条 委員会に、その業務を円滑に行うため、作業部会を設けることができる。

2 作業部会の組織及び運営に関し必要な事項は、委員会において定める。

(結果の活用)

第8条 本学教職員は、FD・SD活動結果をふまえて、積極的にその結果を活用して、教育活動の向上を図り、大学の 改善に資するように努めるものとする。

(事務)

第9条 委員会の事務は、事務局で処理する。

(補則)

第10条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営及びFD・SD活動に必要な事項は、別に定める。 (水正)

第11条 この規程の改正は、委員会の発議により、教授会の意見を聴き、運営会議の議により行う。

則 この規程は、平成27年4月1日から施行する。 則 この規程は、平成30年4月1日から施行する。 則 この規程は、令和2年4月1日から施行する。 附

肦

則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。この規程は、令和3年5月10日から施行する。

- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
  - FD·SD委員会は、毎月1回の委員会を開催。必要に応じて臨時委員会を開催。
- c 委員会の審議事項等

教員の教育活動の向上・能力開発及び職員を含めた全教職員の資質向上に関して恒常的に検討を行い、その質的充実を図ることに関する重要事項について審議する。

#### ② 実施状況

- a 実施内容
- ア 新任教職員研修、教職員研修、年間計画の立案(所掌事項確認を含む)
- イ 授業評価アンケートを前期と後期に分けて実施
- ウ 業績報告会の開催(令和3年度は看護学部が領域別実習中のため、延期した。)
- b 実施方法
- ア 新任教職員研修、教職員研修は、本学本館会議室において実施。
- イ 新任研修では、学長による本学の教育理念・教育課程等について講話。 学生部長による「ハラスメントについて」の講演。
- ウ 教職員研修は、外部講師による「ハラスメント」講演会を実施。
- エ 学部相互、事務局の理解を深めるために、業績報告会を実施。
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
- ア 令和3年度はFD・SD委員会を11回開催、教員3~5名、事務局1~2名の参加により開催した。
- イ 学長講和を令和3年4月1日(木)に開催し、教職員68名が参加した。
- ウ 「アカデミックハラスメント講習会」を令和3年6月16日(水)に開催し、教職員59名が参加した。
- エ 令和3年10月31日(日)開催の「SDフォーラム(オンライン開催)」に事務局から2名が参加した。
- オ 「第3回IPE研修会」を令和3年5月19日(水)に開催し、教職員49名が参加した。
- カ 「第4回IPE研修会」を令和3年7月28日(水)に開催し、教職員46名が参加した。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業評価アンケート、教職員研修、教職員全員による業績報告会を参考として、各教員が自主的に授業改善に取り 組んでいる。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期
  - ア 令和3年度前期授業評価アンケート 前期授業終了時期に73科目で実施
  - イ 令和3年度後期授業評価アンケート 後期授業終了時期に70科目で実施。
  - b 教員や学生への公開状況、方法等

前期・後期アンケート結果に担当教員コメントを付して5/10~5/21の期間中に閲覧可能とした。

- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

### (4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学学則第45条及び本学院学則第2条に基づき、本学の教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うため、「自己点検・評価委員会」を設置している。この委員会は、学長、学部長、学科長、事務局長等により構成する。 各点検・評価項目については、定められた担当が作成し、委員会では全体的な点検・評価を経て報告書としてとりまとめる。

- ② 自己点検・評価報告書
  - a 公表 (予定) 時期
    - 令和 4 年 9 月 公表 (令和 4 年度報告書)
  - b 公表方法
    - ・大学ホームページ上に公開予定(令和5年3月末を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画
  - ・令和2年度に評価機関(公益財団法人日本高等教育評価機構)の評価に向けた。
  - ・次回は、令和9年度に評価機関(公益財団法人日本高等教育評価機構)に予定している。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (5) 情報公表に関する事項

	O 記	设置計画履行状況報告	書	(令和4年度)	
	а	公表予定の有無	[	有 無 ]	
	≪ a 7	で「有」の場合≫			
	b	公表(予定)時期	ĺ	調査結果公表後2~3ヶ月以内 〕	
	С	公表方法	[	ホームページへの掲載 〕	
ı	≪ a 7	で公表「無」の場合≫			
	d	公表しない理由	[		)
-	4				

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

# 別添1

# 新旧対照表

		教育課程(新)	441	1111	<u>_</u>		7111	教育課程(旧	)		
区 分 授業科目			単位数						単位数		
		授業科目	配当年次	必 選修 択		区分		授業科目	配当年次	必修	選択
	導入科目	大学基礎セミナーI	1前	2			導入科目	大学基礎セミナー	1前	1	
		大学基礎セミナーⅡ (国語)	1前	2				アカデミックリテラシー	1前	1	
		人間関係論	1前	2				人間関係論	1前	1	
		倫理学	1前	1				〈追加〉			
	科人 学文	心理学	1前		2			心理学	1前	2	
		文化人類学	1前		2		人	文化人類学	1前		2
		〈廃止〉				教養科	文科学	哲学I	1前		1
		哲学	1前		1		科学	哲学Ⅱ	1前		1
		〈分類替〉					7	臨床心理学	1後	1	
		信州学	1後		1			信州学	1後		1
		音楽	1後		1			音楽	1後		1
		〈廃止〉						異文化理解	1後		2
		〈廃止〉						保健ボランティア	1通	1	
	科社	社会学	1前		2		科社	社会学	1前		2
基礎分野	学会	教育学	1後		2	目	学会	教育学	1後		2
		日本国憲法・法学	2前		2	(基礎分野)		日本国憲法・法学	2前		2
	科自学然	大学基礎セミナーⅢ (情報)	1前	2				情報リテラシー	1後		2
		自然科学の基礎	1前	2			科自 学然	自然科学の基礎	1前	2	
		ヒトと自然の共生	1前		2			〈追加〉			
		加齢の科学	2前		1			〈追加〉			
	学育	体育 (実技)	1前	1			学 学 育	体育 (実技)	1前	1	
		体育学	1後	1			育	体育学	1後	1	
	外国語	英語Ⅰ(読む・書く)	1前	1				英語 [	1前	1	
		英語Ⅱ(聞く・話す)	1後	1				英語Ⅱ	2前	1	
		医学英語 I	2前	1				医学英語 I	1後	1	
		医学英語Ⅱ	2後	1			外	医学英語Ⅱ	2後	1	
		中国語	2後		2		語語	中国語	1後		2
		スペイン語	2後		2			スペイン語	1後		2
		ハングル	2後		2			ハングル	1後		2
		英語Ⅲ	3前		1			英語Ⅲ	3前		1
		医学英語Ⅲ	4前	1.77	1			医学英語Ⅲ	4前	1.5	1
		小計 (27科目)	1 //	17	24			小計 (28科目)	1 /3/	15	24
	人間と環	代謝栄養学	1後	2	_	専門基礎科目(専門基礎分野)		代謝栄養学	1後	2	_
		形態機能学I	1前	2			人間	形態機能学 I	1通	2	
		形態機能学Ⅱ	1後	2				形態機能学Ⅱ	1通	_	
		定理 库影共用兴	1.6%	0				形態機能学Ⅲ	1後	1	
専門基礎分		病理・病態生理学 薬理学	1後 2前	2	_			病理・病態生理学	2前	2	
		乗埋子 病態・病態治療論 I		_	$\vdash$			薬理学・服薬管理論	2前	۷	$\vdash$
		病態・病態治療論Ⅲ 病態・疾病治療論Ⅲ	2前	1	$\vdash$		と	病態・疾病治療論 I	2通	2	
			2後	1	$\vdash$		環境				
野		病態・疾病治療論 V 病態・病態治療論 Ⅱ	3前 2前	1	$\vdash$						$\vdash$
			•	_	$\vdash$			病態・疾病治療論Ⅱ	2通	2	
		病態・疾病治療論IV	2後	1	$\vdash$			<b>上</b> 会倫理	044	1	$\vdash$
		生命倫理 臨床心理学	3前 2後	1	9			生命倫理 「臨床心理学]	2後 1後	1	$\vdash$
			21友	_	2					1	0
		〈廃止〉						人間発達学	2前		2

教育課程(新)							教育課程(旧)							
				単位数						配当年次	単位数			
	区 分	授業科目	配当年次	必 修 状			区 分		授業科目		必修	選択		
		微生物・感染症学	1後	2		専			微生物・感染症学	1後	1			
			1後	2		門基			総合医療論	1前	1	$ldsymbol{f eta}$		
		健康科学概論				礎科			健康社会学	2後	1	<u> </u>		
専	環						環 境		[ヒューマンケア論]	1前	1	<u> </u>		
門基	境と健康	保健医療福祉行政論	2後	2		目	7	見 レ -	保健医療福祉行政論	2後	2	<u> </u>		
礎		保健統計学I	2後	1		専	份	<b>建</b>	保健統計学	2前		2		
分野		保健統計学Ⅱ	3前		1	門	[s			.,				
到		疫学	2前		2	基礎			疫学	2前		2		
		リハビリテーション概論	3前		2	分			[リハビリテーション看護論]	3前		2		
		遺伝学の基礎	4前	00	1	野)			[遺伝看護学]	3前	1			
		小計 (20科目)	1 24	23	8			T	小計 (16科目)	4 24-	21	6		
		看護学概論	1前	3		-			看護学概論 其 琳 手 謙 甘 後 於 I	1前	2	$\vdash$		
		基礎看護技術論 I 基礎看護技術論 II	1前 2前	3	$\vdash$	1		基	基礎看護技術論 I 基礎看護技術論 II	1前 1後	2	$\vdash$		
	基礎	基礎有護技術論Ⅱ ヘルスアセスメント方法論Ⅰ	2削 1後	1	$\vdash$	1		礎看		1仮	۷	$\vdash$		
	看護学	ヘルスアセスメント方法論Ⅱ	2後	1		1		護	ヘルスアセスメント方法論	2通	2			
		〈分類替〉	21反	1		ł		学	遺伝看護学	3前	1	-		
		看護教育論	4前	2		ł			看護教育論	4通	2	┢		
		1日 1支 4人 日 1冊	II)						「地域・在宅看護学I]	1前	1			
	地域・在	地域・在宅看護学 I	1後	2					[地域·在宅看護学Ⅱ]	3前	2			
		地域・在宅看護学Ⅱ	2前	2		ł			[在宅看護論概論]	2後	2			
		地域・在宅看護学方法論	3前	2			看		「在宅看護論方法論	3前	2	<u> </u>		
	成人看護学	成人看護学概論	2前	2			護	成	成人看護学概論	2前	2	<u> </u>		
							専		成人看護学方法論I	2後	2			
		成人看護学方法論 I	2後	2			門科目	人	急性・クリティカルケア論	3前		2		
		成人看護学方法論Ⅱ	3前	2		1		看護	成人看護学方法論Ⅱ	3前	2			
		〈分類替〉				1		学	成人看護学方法論Ⅲ	3前	2			
		〈分類替〉				専門科目(専			リハビリテーション看護論	3前		2		
	老年 看護学 小児 看護学	老年看護学概論	2前	2				老年小	老年看護学概論	2前	2			
		老年看護学方法論	2後	2					老年看護学方法論	2後	2			
専		小児看護学概論	2後	2					小児看護学概論	2後	2			
門分		小児看護学方法論	3前	2				児	小児看護学方法論	3前	2			
野	母性 看護学	母性看護学概論	2後	2		門		母	母性看護学概論	2後	2			
		母性看護学方法論	3前	2		分野		性	母性看護学方法論	3前	2			
	114 / /	精神看護学概論	2前	2		野)		精	精神看護学概論	2後	2			
	看護学	精神看護学方法論	2後	2				神	精神看護学方法論	3前	2	<u> </u>		
		〈分類替〉					統合科目	在宅看	地域・在宅看護学Ⅰ	1前	1	<u> </u>		
		〈分類替〉							地域・在宅看護学Ⅱ	3前	2	Ь—		
		〈分類替〉						護	在宅看護論概論	2後	2	Ь—		
		〈分類替〉	.,					論	在宅看護論方法論	3前	2	Ь—		
	看護の統合と実践	IPW論	2前	1					[IPW論]	2前	1	<del> </del>		
		IPW演習 I	3前	1					[IPW演習 I]	3前	1	<u> </u>		
		看護研究法	3前	2	<u> </u>			£	看護研究法	3後~4前	1	₩		
		看護提供システム論	4前	2	_			者 護	看護提供システム論	3後~4前	1	<del> </del>		
		IPW演習Ⅱ	4前	1	_			0)	[IPW演習Ⅱ]	4前	1	<del> </del>		
		災害看護学	4前	1				統合	災害看護学	3後~4前	1	$\vdash$		
		手業の声明しが足	4 <del>24.</del>	1				と実	災害看護学演習	3後~4前	1	$\vdash$		
		看護の専門と発展 季護課題提出 I	4前	1 2	$\vdash$				統合演習	4前	1	<del>                                     </del>		
		看護課題探求 I	4前	4	0			践	看護課題探求	4通	2			
		看護課題探求Ⅱ	4後		2	1			「战人套雑學七汁墊m」	9삼:	n	$\vdash$		
		エンドオブライフ・ケア	4前		2				[成人看護学方法論Ⅲ] 国際季護学	3前	2	2		
		国際看護学	4後		2			Щ_	国際看護学	3後~4前				

教育課程(新)						教育課程(旧)						
				単位数						単位	立数	
₽	区 分	授業科目	配当年次	必修	選択		区 分	授業科目	配当年次	必修	選択	
		早期体験実習	1前	1				[ヒューマンケア体験実習]	1前	1		
		基礎看護学実習 I	2前	1				基礎看護技術実習	2前	1		
		基礎看護学実習Ⅱ	2後	2				看護展開論実習	2後	2		
		在宅生活支援実習	3後	2				在宅看護論実習	3後~4前	2		
		成人看護学実習	3後	4				成人看護学実習I	3後~4前	2		
								成人看護学実習Ⅱ	3後~4前	2		
	臨 地						臨	成人看護学実習Ⅲ	3後~4前	2		
	実習	老年看護学実習	3後	4			地実習	老年看護学実習 I	3後~4前	2		
	習	一个有咬丁大百	5 K	т.			習	老年看護学実習Ⅱ	3後~4前	2		
		小児看護学実習	3後	2		専門科目 (専門分野)		小児看護学実習	3後~4前	2		
		母性看護学実習	3後	2				母性看護学実習	3後~4前	2		
		精神看護学実習	3後	2				精神看護学実習	3後~4前	2		
専		統合実習 I (管理実習)	4前	1				統合実習	4後	2		
門分		統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)	4前	2				[災害看護学演習]	3後~4前	1		
野	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	3前		2		公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2後		2	
		公衆衛生看護学活動論	3前		2			〈追加〉				
		公衆衛生看護学方法論 I	3後		2			公衆衛生看護学I	3前		2	
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ	4前		2			公衆衛生看護学Ⅱ	3前		2	
		公衆衛生看護管理論	4後		2			公衆衛生看護学Ⅲ	3前		2	
		公衆衛生看護学実習 I	4前		3			公衆衛生看護学実習 I	4前		2	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	4前		2			公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		3	
		〈分類替〉					I	ヒューマンケア論	1前	1		
		〈分類替〉					P E 関連科	ヒューマンケア体験実習	1前	1		
		〈分類替〉						IPW論	2前	1		
		〈分類替〉						IPW演習 I	3前	1		
		〈分類替〉						IPW演習Ⅱ	4前	1		
			73	21			小計 (54科目)		76	19		
	合計 (96科目)			113	53	合計 (98科目)					49	

卒

業

要

件

及

び

履

修

方

法

業 要 及

卒業要件は、基礎分野から25単位(必修17単位、選択は 人文科学から選択3単位以上、社会科学から選択2単位以 上、自然科学から選択1単位以上、外国語から1科目・2単 位、計8単位以上)、専門基礎分野から25単位(必修23単位、選択2単位以上)、専門基礎分野から77単位(必修73単位、選択2単位以上)、専門分野から77単位(必修73単位、 選択4単位以上)、合計127単位(必修113単位、選択14単位)以上を修得すること。

保健師課程を選択する場合は、「公衆衛生看護学関連科 7 K 目」の全科目を履修し、基礎分野の「日本国憲法・法学」、専門基礎分野の「保健統計学Ⅱ」、「疫学」を 履 「疫学」を選択 修 履修し、卒業要件単位と合わせて143単位以上を修得するこ 方 法

- 。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))

「教養科目」から23単位(必修15単位、選択8単位)、 門基礎科目」から23単位(必修21単位、選択2単位)、 門科目」から78単位(必修76単位、選択2単位)、合計124単位(必修112単位、選択12単位)を取得すること。 保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護

学関連科目」の全科目を履修し、「教養科目」の「情報リテラシー」「日本国憲法・法学」を、「専門基礎科目」の「疫学」「保健統計学」を選択履修し、卒業要件単位と合わせて 139単位以上を取得すること。

(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

※[授業科目名]は再掲分